

令和 9（2027）年度

入 学 者 選 拔 要 項



国立大学法人

東京海洋大学

Tokyo University of Marine Science and Technology

令和 8（2026）年 7 月

〈不測の事態が発生した場合の連絡〉

災害等により不測の事態が発生した場合、本学入学者選抜に関する情報提供は次の本学ホームページ等により行いますので、出願及び受験の直前は特に注意してください。

TOP ページ → NEWS → 一覧をみる → 学部入試

〈インフルエンザ等罹患者への対応について〉

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項について

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が感染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

〈「入試過去問題活用宣言への参加」について〉

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし必ず利用するとは限りません。

「入試過去問題活用宣言」の詳細については次のホームページにてご確認ください。

<https://www.nyushikakomon.jp/>

※やむを得ない事情により、この要項に記載されている内容が変更になる場合があります。

最新の情報は、各選抜の学生募集要項並びに本学ホームページ（<https://www.kaiyodai.ac.jp/>）で必ず確認してください。

目 次

大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー及び教育研究上の目的	- 1 -
各学部のアドミッション・ポリシー	- 5 -
海洋生命科学部	- 2 -
海洋工学部	- 3 -
海洋資源環境学部	- 4 -
各学科のアドミッション・ポリシー	- 5 -
海洋生物資源学科	- 5 -
食品生産科学科	- 6 -
海洋政策文化学科	- 7 -
海事システム工学科	- 9 -
海洋電子機械工学科	- 9 -
流通情報工学科	- 10 -
海洋環境科学科	- 12 -
海洋資源エネルギー学科	- 13 -
I 入学者選抜の種類及び募集人員等	- 15 -
令和 9（2027）年度東京海洋大学入学者選抜方法等（一般選抜）	- 17 -
令和 9（2027）年度東京海洋大学入学者選抜方法等（総合型選抜・学校推薦型選抜）	- 18 -
令和 9（2027）年度入試における出願要件の英語資格について	- 19 -
II 一般選抜	
(1) 出願資格	- 21 -
(2) 選抜方法	- 22 -
(3) 出願期間・教科・科目に係る個別テスト日・合格発表日	- 22 -
(4) 令和 9（2027）年度入学者選抜（一般選抜）における出題教科・科目等	- 23 -
III 総合型選抜	- 32 -
海洋生命科学部	- 32 -
海洋工学部	- 41 -
海洋資源環境学部	- 46 -
IV 学校推薦型選抜	- 49 -
海洋生命科学部	- 49 -
海洋資源環境学部	- 54 -
V 私費外国人留学生特別入試	- 56 -
海洋生命科学部	- 56 -
海洋工学部	- 57 -
海洋資源環境学部	- 58 -
VI 学生募集要項の発表・大学案内等の請求方法	- 59 -
VII 健康診断について	- 60 -
VIII 障害等のある入学志願者との事前相談について	- 61 -
IX 東京海洋大学のキャンパス案内	- 62 -
X 学生寮のお知らせ（令和 9 年度学部 1 年次入学者）	- 63 -
XI 入試に関する変更点	- 64 -

大学の理念、大学の人材養成と目標、 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的

東京海洋大学は、大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的を次のように掲げています。

大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行う。

大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、海を守り、海を利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要がある。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力・素養を有する人材を養成する。

- 一 海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方を提示し、実践する能力
- 二 論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力
- 三 現代社会の大局化した諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力
- 四 豊かな人間性、幅広い教養、深い専門的知識・技術による課題探求、問題解決能力
- 五 国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

東京海洋大学は、海洋分野において国際的に活躍する産官学のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学を目指しています。

海洋・海事・水産分野に興味のある次のような人を求めています。

本学の教育を受けるうえで必要な素養と基礎学力を有し、旺盛な学修意欲があり、新しい課題に積極的に取り組もうとする人、常に視野を広め、主体的に考える姿勢を持った人、コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重する人、グローバル社会での活躍を目指す人を多様な入試方法により国内外から広く受け入れます。

教育研究上の目的

海洋生命科学部においては、海洋を含めた水圏に生息する多様な生物の資源としての保全・利用やそれらに関するバイオテクノロジー、食料の利用・加工、海洋政策や文化に関心と興味を持ち、これらに係わる諸課題を追求し、解決するための行動力とグローバル化への対応力を身につけた高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

海洋工学部においては、海上輸送に関連する海、船の利用及び物流等に強い関心を持ち、工学的視点からこれらに係わる諸課題の理解と解決に必要な高度な技術と専門知識を含む幅広い教養、及び豊かな人間性を身につけた国際的にも活躍できる高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

海洋資源環境学部においては、海洋環境の保全と、海底を含めた海洋資源の開発と持続的利用に関心を持ち、これらに係わる諸課題をグローバルな観点から俯瞰し、解決するための高度な知識と技術を身につけ、応用力のある高度専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

各学部のアドミッション・ポリシー

海洋生命科学部

1. 入学者受け入れ方針

海洋生命科学部では、生命科学をはじめとする自然科学、人文・社会科学の深い理解を基盤に、人類社会の持続可能な発展に資するために、海洋を含む水圏に関するグローバルな諸課題に関心を持ち、ディプロマポリシーにおいて掲げる専門的学識、自ら考え判断する能力、豊かな国際性と教養、および現場で適用する実践力を卒業時まで修得することができる素養、能力を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

本学部の教育を受けるために必要な素養と英語力を含む基礎学力を有すること。

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

旺盛な学修意欲があり、新しい課題に積極的に取り組めること。また、常に視野を広め、主体的に考える姿勢を持つこと。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重できること。また、実用的に使える英語力を修得し、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

一般選抜（前期日程）

基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの総合点で判定する。

一般選抜（後期日程）

基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの総合点で判定する。

総合型選抜

学科ごとに定める。

学校推薦型選抜

学科ごとに定める。

私費外国人留学生特別入試

教科・科目に係る個別テスト、面接、日本留学試験の成績、志望理由書及び成績証明書を通じて、本学部での教育を受けるうえで必要な素養と基礎学力を評価する。

海洋工学部

1. 入学者受入れ方針

海洋工学部では、海上輸送に関連する海、船舶、省エネルギー技術、物流、情報システム等のグローバルな諸課題に関心を持ち、ディプロマ・ポリシーで掲げている専門的知識を含む幅広い教養と豊かな人間性、課題の発見・理解力と解決力、国際的に活躍できる能力を卒業時までには修得することができる素養を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【幅広い視野・文化的素養】

大学での学修を通じて文化的素養を身に付けるために必要な基礎的能力を有していること。また、入学後に総合科目・専門導入科目の修得を通じ、幅広い視野を身に付け課題に取り組む意欲を有していること。

【コミュニケーション能力】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、幅広い情報収集や分析を行い、発信できるコミュニケーション能力を身に付ける意欲を有していること。

【専門的知識・問題解決能力】

専門導入科目、専門科目の履修を通じて、幅広い専門的知識を修得し、それらを活用して課題を発見・理解し、解決することに強い関心があること。

【実践的指導力・リーダーシップ】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、グローバル社会のリーダーとして求められる実践的指導力を身に付ける意欲を有していること。

【自ら判断・行動できる能力】

自ら課題に対して、論理的に考え、判断し、行動する能力を身に付ける意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは、国語、地理・歴史、公民、数学、理科、外国語、情報により幅広い分野の基礎的学力を評価する。また、本学で課す数学と外国語の試験により、数理的な素養や語学力を評価する。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは、特に数学と外国語により、数理的素養と語学力を評価する。また、海事システム工学科と海洋電子機械工学科の志望者に対しては理科の試験を課し、理科に関する理解度を評価するとともに、全学科で外国語の試験を課し、語学力を評価する。

総合型選抜

志望理由・自己推薦書、課題学習能力試験、模擬授業・課題論文試験または小論文試験、面接を課し、工学分野への学習意欲、数理的な素養と語学力、論理的思考力、コミュニケーション能力を評価する。

私費外国人留学生特別入試

日本留学試験では日本語と数学・理科を評価対象とし、教科・科目に係る個別テストでは数学と英語を課すことにより、日本語力、数理的な素養、国際的な活躍のための能力を評価する。さらに、面接を実施し、思考力とコミュニケーション能力を評価する。

海洋資源環境学部

1. 入学者受け入れ方針

海洋資源環境学部では、海洋環境の保全、海洋の資源とエネルギーの持続的開発・利用に関心を持ち、ディプロマ・ポリシーにおいて掲げる専門的学識、自ら考え判断する能力、豊かな国際性と幅広い教養、および現場で通用する実践力を卒業時まで修得することができる素養・能力を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

自然科学から工学の広範な教育を受けるために必要な素養と基礎学力及び海洋環境や海洋資源に関する広範な領域の学修意欲と、新しい課題への積極性を有すること。

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

様々な問題に取り組むための広い視野と、主体的な考え方を持つこと。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

多様な人々と協働するための意思疎通能力の基礎と、異なる考え方や文化を理解・尊重する精神及びグローバルに活躍するための基礎語学力と意欲を有すること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

一般選抜（前期日程）

基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの総合点で判定する。

一般選抜（後期日程）

基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの総合点で判定する。

総合型選抜

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて、本学部での教育を受けるうえで必要な素養と基礎・能力を評価する。

学校推薦型選抜

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて、本学部での教育を受けるうえで必要な素養と基礎・能力を評価する。

私費外国人留学生特別入試

教科・科目に係る個別テスト、面接、日本留学試験の成績、志望理由書及び成績証明書を通じて、本学部での教育を受けるうえで必要な素養・能力を評価する。

各学科のアドミSSION・ポリシー

海洋生命科学部

海洋生物資源学科

1. 入学者受け入れ方針

海洋生物資源学科では、沿岸から沖合、深海に加え、河川や湖沼に生きる生物を対象として、生態系のなかでの多様性を保全しつつ、これら生物を持続的に利用していくための海洋生物学、生命科学、資源生物学について幅広く教育・研究する。その内容は遺伝子、細胞、個体レベルから個体群、そして生態系レベルまでをカバーする。水に生きる動植物を守り、育むための生理学、病理学、遺伝育種学、バイオテクノロジー、生態学、資源学を学び、これらを技術として応用することに興味と意欲を持ち、ディプロマポリシーにおいて掲げる専門的学識、自ら考え判断する能力、豊かな国際性と教養、および現場で適用する実践力を卒業時までには修得することができる素養、能力を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有していること。とりわけ数学と理科（物理、化学または生物）の基礎学力を有していること（※）。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C

物理については、物理基礎、物理

化学については、化学基礎、化学

生物については、生物基礎、生物

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

旺盛な学修意欲があり、海洋生物やそれを取り巻く環境に関する様々な課題に積極的に取り組むこと。また、常に視野を広め、上記課題について主体的に考え、それを解決するために行動する姿勢を持つこと。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

海洋生物資源学科における大学生活を通じてコミュニケーション能力を高めること。また、異なる考え方や文化を尊重できる人材となること。さらに、海洋生物資源学科で学んだことを礎に、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

総合型選抜（A）

小論文、聴講論文、個人面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

総合型選抜（C、E）

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

学校推薦型選抜（B）

小論文、口頭試問、聴講論文、個人面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

私費外国人留学生特別入試

教科・科目に係る個別テスト、面接、日本留学試験の成績、志望理由書及び成績証明書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

食品生産科学科

1. 入学者受け入れ方針

食品生産科学科では、安全で信頼性の高い水産生物を主とする食品を持続的に供給するため、食資源を化学、微生物学、物理学、工学的な手法を用いて余すことなく利用する技術開発を行い、食品の安全性の確保・向上と新しい機能をもつ食品の開発と評価について教育・研究する。水産生物を食資源として有効利用すること、食品の原料から製造加工、流通、消費に至るまでを対象とした安全性の確保・向上、食品の新しい機能開発などに関心がある人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有していること。とりわけ数学と理科（物理、化学または生物）の基礎学力を有していること（※）。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C

物理については、物理基礎、物理

化学については、化学基礎、化学

生物については、生物基礎、生物

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

旺盛な学修意欲があり、新しい課題に積極的に取り組むこと。また、「食」に関する社会的な問題にも幅広く関心を示し、主体的に考える姿勢を持つこと。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

他人とのコミュニケーションに積極的であり、適切な自己表現ができること。また、異なる考え方や文化を尊重し、グローバル社会での活躍を目指すこと。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し、適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

総合型選抜（C、E）

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

学校推薦型選抜（A、B）

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

私費外国人留学生特別入試

教科・科目に係る個別テスト、面接、日本留学試験の成績、志望理由書及び成績証明書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

海洋政策文化学科

1. 入学者受け入れ方針

海洋政策文化学科では、政策的アプローチ、産業的アプローチ、文化的アプローチにより、理論と実践における考察力と実践力を練磨するために、「海・人・社会」の望ましい関係の在り方について幅広く教育・研究する。本学科は、理系・文系の垣根をこえ、海洋政策、海と人との共生に対して積極的な関心を有し、また、法律、経済、人文学、海洋スポーツ、教育など、幅広い分野に興味のある人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

入学後の学修に必要な幅広い基礎学力を有していること。

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

論理的な思考力を有していること。また、ものごとを多角的に検討できる判断力を有していること。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

自らの考えを的確に伝える表現力を有していること。また、旺盛な学修意欲があり、幅広い視野に立って、新しい課題に積極的に取り組む姿勢を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力とともに、論理的思考にもとづいて適切に文章を読解・作成する能力を身に着けている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学または理科の1科目選択、及び小論文）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、論理的思考にもとづいて適切に文章を読解・作成する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト（3教科3科目）及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

総合型選抜（A、B、C、E）

小論文、口頭試問（総合型選抜 B のみ）、聴講論文、個人面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

学校推薦型選抜（A）

大学入学共通テスト、調査書、志望理由書及び資格・業績書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

私費外国人留学生特別入試

教科・科目に係る個別テスト、面接、日本留学試験の成績、志望理由書及び成績証明書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

海洋生命科学部では、TOEIC L&R スコア 600 点取得を学部 4 年次への進級要件としています。

その支援のため、TOEIC 学習専門の英語教員の配置、スコア別・技能別 TOEIC クラスの設置、語学学習用の個人ブースや防音個室ブースを完備した学習スペース「グローバルコモン」の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後も英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

「水産教員養成課程」（海洋生命科学部）について

- ・全国の水産・海洋系高校で教員として仕事ができる免許状取得者を計画的に養成している課程です。
- ・長い歴史と伝統を持つ我が国で唯一の水産教員の養成課程であり、これまでたくさんの卒業生を全国各地の水産教育の現場に輩出してきた実績のあるコースです。
- ・所属学科の専門教育プログラム（学士課程）に加えて、水産教員養成課程のプログラム（教職課程）を習得することにより、2つの専門性を有した職業人教育を目的としたコースです。
- ・希望によって、高等学校（理科）の免許状の取得も可能であり、将来の選択肢をさらに広げることが可能です。
- ・入学定員は7名（内訳：海洋生物資源学科3名、食品生産科学科3名、海洋政策文化学科1名）です。

●水産の教職免許状が取得しやすい？

- ・学部を卒業するために必要な単位数（133単位）に水産の教育職員免許状（以下「教職免許状」）を取得するために必要な科目の単位が含まれているため、水産教員養成課程で入学する学生はこの課程以外（以下「一般」）の学生に比べて、水産の教職免許状を取得しやすくなっています。

なお、一般の学生が水産の教職免許状を取得する場合、学部を卒業するために必要な単位（124単位）とは別に水産の教職免許状を取得するために必要な科目の単位（23単位）を取得する必要があります。

●将来の選択肢を広げたい方におすすめの理由とは？

- ・例年、全国の水産・海洋系高校から求人の問い合わせが寄せられており、水産・海洋系高校の教員を進路の選択肢の一つとして考える学生にとって、魅力的な課程です。
- ・本課程は水産の教職免許状取得を目的（卒業の要件）としていますが、本学の大学院や海洋科学専攻科への進学、一般企業や公務員への就職などの多様な進路選択が可能です（就職や進学については一般の学生と同様、ご自身の希望で様々な選択が可能です）。
- ・教職免許状には有効期限がありませんので、一度、一般企業等で活躍し、将来的に地元や愛着のある地域で教員として仕事をしてみたいと考える方にもおすすめです（なお、公立学校の教員採用試験の年齢制限は自治体によって異なりますのでご注意ください）。

●「水産教員養成課程」の募集は、どのような選抜区分でおこなっているか？

1. 一般選抜（前期日程）：
海洋生物資源学科 3名、食品生産科学科 2名、海洋政策文化学科 1名
 2. 総合型選抜A（一般）：
海洋生物資源学科 若干名
 3. 学校推薦型選抜B（専門学科・総合学科卒業生）：
海洋生物資源学科若干名、食品生産科学科 1名
- ※ 海洋生物資源学科の一般選抜（前期日程）の募集人員には、総合型選抜A、学校推薦型選抜Bの募集人員を含みます。

●「水産教員養成課程」の選考方法は？

出願の際に水産教員養成課程を志願した場合、はじめに水産教員養成課程の志願者として選考を行い、合格者を決定します。この時点で不合格となった場合でも、あらためて一般の志願者と同等の基準で選考を行っています。

●教職免許状の発行申請が容易？

本学では、教職免許状の資格要件を満たす学生が4年次の4月に一括事前申請の希望届を提出し、所定の申請手数料を納付した学生に対して、一括して東京都教育委員会に教職免許状の発行申請をしています。この場合、学生は卒業と同時に教職免許状の授与を受けることができます。（一括事前申請をしない場合、卒業後に個人で居住地、又は就職先の学校のある都道府県教育委員会に直接申請を行う必要があります。）

海洋工学部

海事システム工学科

1. 入学者受入れ方針

海事システム工学科では、船舶運航技術および工学的技術に関心を持ち、専門的知識を含む幅広い教養、課題の発見・理解と解決に必要な高度な技術、船舶運航に必須な多国籍の運航チームを形成できる国際性、協調性を卒業時まで修得することができる素養を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【幅広い視野・文化的素養】

大学での学修を通じて文化的素養を身に付けるために必要な基礎的能力を有していること。また、入学後に総合科目・専門導入科目の修得を通じ、幅広い視野を身に付け課題に取り組む意欲を有していること。

【コミュニケーション能力】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、幅広い情報収集や分析を行い、発信できるコミュニケーション能力を身に付ける意欲を有していること。

【専門的知識・問題解決能力】

専門導入科目、専門科目の履修を通じて、幅広い専門的知識を修得し、それらを活用して課題を発見・理解し、解決することに強い関心があること。

【実践的指導力・リーダーシップ】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、グローバル社会のリーダーとして求められる実践的指導力を身に付ける意欲を有していること。

【自ら判断・行動できる能力】

自ら課題に対して、論理的に考え、判断し、行動する能力を身に付ける意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

海事システム及び工学全般を理解できる基礎学力を有し、国際的な活躍のための能力を備えた工学分野に関心のある者を選抜する。

一般選抜（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストでは幅広い分野の基礎的学力を評価する。教科・科目に係る個別テストでは前期日程では数学と英語を、後期日程では理科（物理）と英語を課して評価する。

総合型選抜

課題学習能力試験では数学と英語の基礎学力を、模擬授業・課題論文では学科の学問領域への関心や論理力を、面接では海事システム工学分野を学ぶための意欲を評価する。

私費外国人留学生特別入試

日本留学試験では日本語と数学・理科を評価対象とし、教科・科目に係る個別テストでは数学と英語を課すことにより、日本語力、数理的な素養、国際的な活躍のための能力を評価する。さらに、面接を実施し、思考力とコミュニケーション能力を評価する。

海洋電子機械工学科

1. 入学者受入れ方針

海洋電子機械工学科では、船舶機関、機械工学、電気・電子工学、制御工学等の様々な工学的技術に関心を持ち、それらの知識を活かした技術者として、課題を発見・理解し、解決することができる能力を修得できる素養を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【幅広い視野・文化的素養】

大学での学修を通じて文化的素養を身に付けるために必要な基礎的能力を有していること。また、入学後に総合科目・専門導入科目の修得を通じ、幅広い視野を身に付け課題に取り組む意欲を有していること。

【コミュニケーション能力】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、幅広い情報収集や分析を行い、発信できるコミュニケーション能力を身に付ける意欲を有していること。

【専門的知識・問題解決能力】

専門導入科目、専門科目の履修を通じて、幅広い専門的知識を修得し、それらを活用して課題を発見・理解し、解決することに強い関心があること。

【実践的指導力・リーダーシップ】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、グローバル社会のリーダーとして求められる実践的指導力を身に付ける意欲を有していること。

【自ら判断・行動できる能力】

自ら課題に対して、論理的に考え、判断し、行動する能力を身に付ける意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

電子機械及び工学全般を理解できる基礎学力を有し、国際的な活躍のための能力を備えた工学分野に関心のある者を選抜する。

一般選抜（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストでは幅広い分野の基礎的学力を評価する。教科・科目に係る個別テストでは前期日程では数学と英語を後期日程では理科（物理）と英語を課して評価する。

総合型選抜

課題学習能力試験では数学と英語の基礎学力を、模擬授業・課題論文では学科の学問領域への関心や論理力を、面接では海洋電子機械工学分野を学ぶための意欲を評価する。

私費外国人留学生特別入試

日本留学試験では日本語と数学・理科を評価対象とし、教科・科目に係る個別テストでは数学と英語を課すことにより、日本語力、数理的な素養、国際的な活躍のための能力を評価する。さらに、面接を実施し、思考力とコミュニケーション能力を評価する。

流通情報工学科

1. 入学者受入れ方針

流通情報工学科では、日本の衣食住を支える物流、物流を機能させる情報システム、環境対策を含むグローバルな経済活動に関する専門的知識と高度な技術力及び社会貢献力を卒業時まで修得することができる素養を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【幅広い視野・文化的素養】

大学での学修を通じて文化的素養を身に付けるために必要な基礎的能力を有していること。また、入学後に総合科目・専門導入科目の修得を通じ、幅広い視野を身に付け課題に取り組む意欲を有していること。

【コミュニケーション能力】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、幅広い情報収集や分析を行い、発信できるコミュニケーション能力を身に付ける意欲を有していること。

【専門的知識・問題解決能力】

専門導入科目、専門科目の履修を通じて、幅広い専門的知識を修得し、それらを活用して課題を発見・理解し、解決することに強い関心があること。

【実践的指導力・リーダーシップ】

実験、実習、演習、卒業研究等への取組を通じて、グローバル社会のリーダーとして求められる実践的指導力を身に付ける意欲を有していること。

【自ら判断・行動できる能力】

自ら課題に対して、論理的に考え、判断し、行動する能力を身に付ける意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

流通情報工学への関心を有し、教育を受けるために必要な水準を満たす者を選抜する。

一般選抜（前期日程・後期日程）

大学入学共通テストでは幅広い分野の基礎的学力を評価する。教科・科目に係る個別テストの前期日程で数学と英語を、後期日程で英語を課すことにより、数理的な素養や、国際的な活躍のための能力を評価する。

総合型選抜

課題学習能力試験では数学と英語の基礎学力を、小論文では学科の学問領域への関心や論理的思考力を、面接では流通情報工学を学ぶための意欲を評価する。

私費外国人留学生特別入試

日本留学試験では日本語と数学・理科を評価対象とし、教科・科目に係る個別テストでは数学と英語を課すことにより、日本語力、数理的な素養、国際的な活躍のための能力を評価する。さらに、面接を実施し、思考力とコミュニケーション能力を評価する。

海洋工学部では、言語能力を評価する国際指標である CEFR を採用し、CEFR B1 レベル以上の英語スコア取得を学部 4 年次への進級要件としています。

その支援のため、CEFR B1 取得を目指す GLI 演習の導入、海洋工学部が独自に開発した英語学習用 e ラーニング教材の提供、図書館（越中島キャンパス）に語学学習用の個人ブースや各種問題集・参考書の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後の英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

海洋工学部の海事システム工学科と海洋電子機械工学科には、船舶運航に関する実習があります。

海洋資源環境学部

海洋環境科学科

1. 入学者受け入れ方針

海洋における諸現象を観測・解析・予測する海洋学及び海洋生物と環境との相互作用を解析する海洋生物学を基礎として、これを海洋環境保全・修復の科学・技術へと発展させる海洋環境科学をカリキュラムポリシーに沿って教育・研究する。具体的には、海洋、海底の物理・化学・地質学的観測・探査、多様な海洋生物（微生物から鯨類まで）の調査・研究、海洋生物の保全と有用物質利用のためのバイオテクノロジーや生化学、海洋の諸現象や人間活動の影響のモデル化と予測、海洋環境の保全・修復の計画立案実行等の課題に取り組む。これらの課題に関心があり、ディプロマポリシーにおいて掲げる専門的学識、豊かな国際性と幅広い教養、自ら考え判断する能力、および現場で通用する実践力を卒業時までには修得する意欲を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

自然科学の広範な教育を受けるために必要な素養と基礎学力、とりわけ数学と理科（少なくとも物理、化学または生物のうちいずれか 2 科目）の基礎学力を有していること（※）。また、海洋に関する広範な学問領域を学修し、新しい課題に取り組む積極的姿勢を有していること。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C

物理については、物理基礎、物理

化学については、化学基礎、化学

生物については、生物基礎、生物

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

海洋に関わる様々な問題に取り組むために必要な広範囲を見渡す姿勢を有していること。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

主体的に思考する姿勢、海洋観測や海洋利用などに関わる多様な人々と協働するために意思疎通し、異なる考え方や文化を理解・尊重する姿勢を有していること。また、グローバルに学修活動を行うための基礎的語学力を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

総合型選抜（C、E）

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

学校推薦型選抜（A、B）

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

私費外国人留学生特別入試

教科・科目に係る個別テスト、面接、日本留学試験の成績、志望理由書及び成績証明書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

海洋資源エネルギー学科

1. 入学者受け入れ方針

大気、海洋、海底に関する科学（環境科学の一部も含む）を基礎として、海洋環境を保全しながら資源や再生可能エネルギーを利用するための基礎工学及び海洋開発に関連する実践的な科学・技術を教育・研究する。具体的には、海洋・海底（エネルギー資源を含む）の探査や開発ならびにその環境影響、海洋自然エネルギー利用に関連する大気・海水流動の解析技術、エネルギー変換、海洋・生物生態調査、海上・海中・海底における諸活動を支える計測機器、移動体、構造物に関する運用・制御等の課題に取り組む。これらの課題に興味があり、ディプロマポリシーにおいて掲げる専門的学識、自ら考え判断する能力、豊かな国際性と幅広い教養、および現場で通用する実践力を卒業時までには修得することができる素養・能力を有する人を求める。

2. 求める素養・能力

【専門的学識を修得するための素養・能力】

自然科学から工学の広範な教育を受けるために必要な素養と基礎学力、とりわけ数学と理科（少なくとも物理、化学または生物のうちいずれか 1 科目）の基礎学力を有していること（※）。また、海洋環境も含む海洋資源に関する広範な学問領域への学修意欲と、新しい課題に取り組む積極性を有していること。

（※）数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C

物理については、物理基礎、物理

化学については、化学基礎、化学

生物については、生物基礎、生物

【自ら考え判断する能力を修得するための素養・能力】

海洋環境も含む海洋資源に関わる様々な問題に取り組むための広い視野と、主体的な思考力を有していること。

【豊かな国際性と幅広い教養、現場で通用する実践力を修得するための素養・能力】

資源探査や海洋利用などに関わる多様な人々と協働するための意思疎通能力の基礎と、異なる考え方や文化を理解・尊重する姿勢を有していること。また、グローバルに活躍するための基礎的語学力と意欲を有していること。

3. 入学者選抜の基本方針、評価方法

【入学者選抜の基本方針】

本学科での教育を受けるうえで必要な素養・能力を判定するために、以下の選抜を行う。

一般選抜（前期日程・後期日程）

一般選抜（前期日程）では、基礎学力を幅広く身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（数学・理科）の総合点で判定する。一般選抜（後期日程）では、基礎学力とともに、考えを論理的に展開し適切に表現する能力を身につけている人を選抜するために、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（小論文）の総合点で判定する。

総合型選抜（C、E）

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

学校推薦型選抜（A、B）

小論文、面接、志望理由書及び調査書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

私費外国人留学生特別入試

教科・科目に係る個別テスト、面接、日本留学試験の成績、志望理由書及び成績証明書を通じて学科の学問領域に対する関心、学ぶ意欲、学ぶために必要な学力等を評価する。

海洋資源環境学部では、TOEIC L&R スコア 600 点取得を学部 4 年次への進級要件としています。

その支援のため、TOEIC 学習専門の英語教員の配置、スコア別・技能別 TOEIC クラスの設置、語学学習用の個人ブースや防音個室ブースを完備した学習スペース「グローバルコモン」の設置、英語学習アドバイザーによる学習支援など、入学後も英語学習を強くバックアップする体制を整備しています。

I 入学者選抜の種類及び募集人員等

令和 9（2027）年度入学者選抜については、一般選抜は分離分割方式（前期日程、後期日程）で行います。また、総合型選抜は、海洋生命科学部、海洋工学部、海洋資源環境学部で行います。学校推薦型選抜は、海洋生命科学部、海洋資源環境学部で行います。私費外国人留学生特別入試は、全学部で行います。

各入学者選抜の募集人員は以下のとおりです。

学部	学科	入学定員	募集人員										私費外国人留学生
			一般選抜		総合型選抜						学校推薦型選抜		
			前期日程	後期日程	A（一般）	B（専門学科・総合学科卒業生）	C・I型（帰国生徒）	C・II型（留学経験者）	D（商船教員養成コース）	E（社会人）	A（一般）	B（専門学科・総合学科卒業生）	
海洋生命科学部	海洋生物資源学科 〈水産教員養成課程〉	68	42	18	8	—	若干名	若干名	—	若干名	—	若干名	若干名
		③	③	—	若干名	—	—	—	—	—	—	若干名	
	食品生産科学科 〈水産教員養成課程〉	55	30	14	—	—	若干名	若干名	—	若干名	10	1	若干名
		③	②	—	—	—	—	—	—	—	①		
	海洋政策文化学科 〈水産教員養成課程〉	40	21	12	5	若干名	若干名	若干名	—	若干名	2	—	若干名
		①	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小計	170 (163+⑦)	93⑥	44	13	若干名	若干名	若干名	—	若干名	12	1①	若干名	
海洋工学部	海事システム工学科	59	36	14	7	2	若干名	—	—	若干名	—	—	若干名
	海洋電子機械工学科	59	34	14	6	3	若干名	—	2	若干名	—	—	若干名
	流通情報工学科	42	20	14	7	1	若干名	—	—	若干名	—	—	若干名
	小計	160	90	42	20	6	若干名	—	2	若干名	—	—	若干名
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	62	37※	14※	—	—	若干名	若干名	—	若干名	11	若干名	若干名
	海洋資源エネルギー学科	43	27※	11※	—	—	若干名	若干名	—	若干名	5	若干名	若干名
	小計	105	64	25	—	—	若干名	若干名	—	若干名	16	若干名	若干名
合計		435 (428+⑦)	247⑥	111	33	6	若干名	若干名	2	若干名	28	1①	若干名

※ 海洋生命科学部及び海洋工学部の一般選抜は、第 1 志望学科のみ志願することができます。

海洋資源環境学部の一般選抜は、前期日程・後期日程とも海洋資源環境学部の 2 学科間で、第 2 志望を認めます。

- (注1) 総合型選抜Aは一般、総合型選抜Bは専門学科・総合学科卒業生、総合型選抜Eは社会人をそれぞれ対象とした選抜です。
- (注2) 総合型選抜C－Ⅰは帰国生徒を対象とした選抜です。
- (注3) 総合型選抜C－Ⅱは日本の高等学校在籍中に1年（School Year）以上の海外留学経験を有する者を対象とした選抜です。
- (注4) 総合型選抜D（商船教員養成コース）は水産・海洋系高等学校、または水産・海洋系の学科あるいはコースを持つ高等学校の教員を養成するコースです。
- (注5) 学校推薦型選抜Aは公募制の選抜です。学校推薦型選抜Bは専門学科・総合学科卒業生（水産・海洋系）を対象とした公募制の選抜です。
- (注6) 海洋生命科学部の入学定員小計170人には、水産教員養成課程の7人を含みます。○印の数は、水産教員養成課程の募集人員で外数です。○印のつかない一般と区別します。
- (注7) 海洋生命科学部海洋生物資源学科の前期日程の水産教員養成課程の募集人員には、総合型選抜A、学校推薦型選抜Bの水産教員養成課程の募集人員を含みます。
- (注8) 海洋生命科学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜B、総合型選抜C－Ⅰ、総合型選抜C－Ⅱ、総合型選抜E、学校推薦型選抜B（海洋生物資源学科）の募集人員を含みます。
- (注9) 海洋生命科学部の総合型選抜A、学校推薦型選抜A、学校推薦型選抜B（食品生産科学科）の合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。
- (注10) 海洋工学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜C－Ⅰ、総合型選抜Eの募集人員を含みます。
- (注11) 海洋工学部の総合型選抜A、総合型選抜B、総合型選抜Dの合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。
- (注12) 海洋資源環境学部の前期日程の募集人員には、総合型選抜C－Ⅰ、総合型選抜C－Ⅱ、総合型選抜E、学校推薦型選抜Bの募集人員を含みます。
- (注13) 海洋資源環境学部の学校推薦型選抜Aの合格者が募集人員に満たない場合は、その数を一般選抜前期日程の募集人員に加えて募集します。

令和9（2027）年度東京海洋大学入学者選抜方法等（一般選抜）

学部・日程・学科名			教科・科目に係る個別テスト等								教科・科目に係る個別テスト等の日程	備考（欠員の補充の方法等）
			教科・科目に係る個別テストを課する	実技検査等				2段階選抜				
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語においてリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数			
									定員に対する倍率	その他		
海洋生命科学部	前期日程	海洋生物資源学科	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
		食品生産科学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
		海洋政策文化学科	○	×	×	○	×	×	×	×		
	後期日程	海洋生物資源学科	×	×	×	○	×	×	×	×	3月12日	
		食品生産科学科	×	×	×	○	×	×	×	×		
		海洋政策文化学科	×	×	×	○	×	×	×	×		
海洋工学部	前期日程	海事システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
		海洋電子機械工学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
		流通情報工学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
	後期日程	海事システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日	
		海洋電子機械工学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
		流通情報工学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
海洋資源環境学部	前期日程	海洋環境科学科	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	
		海洋資源エネルギー学科	○	×	×	×	×	×	×	×		
	後期日程	海洋環境科学科	×	×	×	○	×	×	×	×	3月12日	
		海洋資源エネルギー学科	×	×	×	○	×	×	×	×		

（注）追加合格によってもなお欠員が生じた場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

※ 海洋資源環境学部の一般選抜は、前期日程・後期日程とも海洋資源環境学部の2学科間で、第2志望を認めます。海洋資源環境学部の全受験者を合計得点順に並べ、その上位者から出願時の志望に応じて順次、合格者を決定します。

令和 9（2027）年度東京海洋大学入学者選抜方法等（総合型選抜・学校推薦型選抜）

学部・学科名 選抜方法等		総合型選抜					学校推薦型選抜							
		(A) 一般	(B) 専門学科・総合学科卒業生	(C・I・II) 帰国生徒・留学経験者	(D) 商船教員養成コース	(E) 社会人	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する							
							し、大学入学共通テストを課する	教科・科目に係る個別テストを免除する	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除する	実技検査等				
										実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語においてリスニングテストを課する	その他
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	○	－	○	－	○	×	○	×	○	○	×	○	
	食品生産科学科	－	－	○	－	○	×	○	×	○	○	×	×	
	海洋政策文化学科	○	○	○	－	○	○	×	×	×	×	×	×	
海洋工学部	海事システム工学科	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	
	海洋電子機械工学科	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	
	流通情報工学科	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－	－	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	－	－	○	－	○	×	○	×	○	○	×	×	
	海洋資源エネルギー学科	－	－	○	－	○	×	○	×	○	○	×	×	

令和 9（2027）年度入試における出願要件の英語資格について

各学部が出願要件として指定する英語資格・検定試験のスコアは以下のとおりです。

海洋生命科学部、海洋資源環境学部

一般選抜

英語資格・検定試験に係る出願要件は無し。

総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生特別入試

次に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者

- ① TOEIC L&R (TOEIC-IP を含む) 400 点以上
- ② TOEFL (iBT) バンド方式 3.0 もしくは 40 点以上 (My Best Score を含む)、または TOEFL-ITP (Level 1 に限る) 435 点以上
- ③ IELTS バンド 3.5 以上
- ④ GTEC (3 技能)、または GTEC for STUDENTS 500 点以上※オフィシャルスコア以外も可。ただし、2019 年 3 月 31 日までの受検に限る。
- ⑤ GTEC (4 技能) 830 点以上※オフィシャルスコアに限る。
- ⑥ GTEC CBT 720 点以上 ※2017 年 3 月 31 日までの受検に限る。2017 年 4 月 1 日以降の GTEC (CBT タイプ) は、GTEC (4 技能) として扱う。
- ⑦ 英検準 2 級以上
- ⑧ TEAP (4 技能) 160 点以上
- ⑨ TEAP CBT (4 技能) 280 点以上
- ⑩ ケンブリッジ英語検定 120 点以上

ただし、次に掲げる学部・学科の入試区分における英語資格については、以下のとおりとする。

海洋生命科学部海洋政策文化学科	総合型選抜-B (専門学科・総合学科卒業生)
海洋生命科学部食品生産科学科	学校推薦型選抜-B (専門学科・総合学科卒業生)
海洋資源環境学部 (全学科)	学校推薦型選抜-B (専門学科・総合学科卒業生)

次に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者

- ① TOEIC L&R (TOEIC-IP を含む) 365 点以上
- ② TOEFL (iBT) バンド方式 2.5 もしくは 38 点以上 (My Best Score を含む)、または TOEFL-ITP (Level 1 に限る) 423 点以上
- ③ IELTS バンド 3.0 以上
- ④ GTEC (3 技能)、または GTEC for STUDENTS 450 点以上※オフィシャルスコア以外も可。ただし、2019 年 3 月 31 日までの受検に限る。
- ⑤ GTEC (4 技能) 740 点以上※オフィシャルスコアに限る。
- ⑥ GTEC CBT 620 点以上※2017 年 3 月 31 日までの受検に限る。2017 年 4 月 1 日以降の GTEC (CBT タイプ) は、GTEC (4 技能) として扱う。
- ⑦ 英検 3 級以上
- ⑧ TEAP (4 技能) 135 点以上
- ⑨ TEAP CBT (4 技能) 235 点以上
- ⑩ ケンブリッジ英語検定 100 点以上

海洋工学部

一般選抜、私費外国人留学生特別入試

英語資格・検定試験に係る出願要件は無し。

総合型選抜

次に掲げるいずれかの英語資格・検定試験の成績が「CEFR A1 以上」の基準を満たしている者とする。

「CEFR」については、以下の「英語資格・検定試験と CEFR との対照表」を参照してください。

- ① ケンブリッジ英語検定
- ② 実用英語技能検定（英検）〈従来型・新方式〔CBT、S-CBT、S-Interview〕〉
- ③ GTEC（4 技能）※オフィシャルスコアに限ります。
- ④ IELTS
- ⑤ TEAP（4 技能）
- ⑥ TEAP CBT
- ⑦ TOEFL iBT テスト
- ⑧ TOEIC L&R、TOEIC S&W ※TOEIC L&R と TOEIC S&W は両方受検が必要です。

出願時に成績を証明する書類を提出していただきます。英語資格・検定試験の受検時期は問いませんが、英語資格・検定試験実施団体が成績を証明する書類の有効期限を定めている場合は、その期限までとします。（出願最終日が有効期限内に含まれていること。）

英語資格・検定試験と CEFR との対照表

2026 年 4 月現在

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能 検定（英検） 〈従来型・新方式〔CBT、S-CBT、S-Interview〕〉	GTEC （4 技能）	IELTS	TEAP （4 技能）	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R ・ TOEIC S&W
C2	230 200			9.0 8.5				
C1	199 180	3299 2600	1400 1350	8.0 7.0	400 375	800	120 95	5.5 5.0 1990 1845
B2	179 160	2599 2300	1349 1180	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	4.5 4.0 1840 1560
B1	159 140	2299 1950	1179 930	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	3.5 3.0 1555 1150
A2	139 120	1949 1700	929 680		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100	1699 1400	679 260		134 101	230 130		620 320

※ この対照表は、「各資格・検定試験と CEFR との対照表（文部科学省平成 30 年 3 月作成）」に、試験実施団体からの情報を基に作成したものです。

※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及び GTEC は複数の試験から構成されており、それぞれの試験が CEFR との対照関係として測定できる能力の範囲が定められています。当該範囲を下回った場合には CEFR の判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられている CEFR の判定が行われます。

※ TOEIC は L&R、S&W 両方受検を必要とし、TOEIC L&R、TOEIC S&W については、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にして合算したスコアで判定します。

Ⅱ 一般選抜

(1) 出願資格

一般選抜に出願できる者は、2027 年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目（次の(3)選抜方法を参照）を受験した者で、かつ、次の各号のいずれか一つに該当する者とする。

- ① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者^(注1)

(注 1) 上記③に該当する者は次のとおりである。(詳細については、本学入試課まで問い合わせること。)

- 1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和 56 年文部省告示第 153 号）
- 2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- 3) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成 17 年文部科学省告示第 137 号）及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- 4) 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- 5) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（従前の大学入学資格検定の合格者を含む。）及び 2027 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、2027 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- 6) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの^(注2)

(注 2) 上記 6) に該当する者で、入学資格認定を必要とする者は、個別の入学資格審査が必要です。

大学入学共通テスト出願の際、本学を志望する者や、他大学の入学資格審査を受けた者で、その後本学に志望変更した者については、それぞれ以下の申請期限までに申請してください。

申請要件、申請書類等の詳細については、本学ホームページにて確認してください。

本学ホームページ（TOP ページ→学部入試→大学入学資格及び個別入学資格審査）

ア. 大学入学共通テスト出願の際、本学を志望する者 2026 年 8 月 6 日（木）[必着]

イ. 大学入学共通テスト出願の際、他大学の入学資格審査を受けた者で、その後本学に志望変更した者 2027 年 1 月 4 日（月）[必着]

ウ. 大学入学共通テスト追試験受験者のみ対象 2027 年 1 月 19 日（火）17 時までに申し出ること（(注) 大学入学共通テスト追試験許可書を提示すること）

(2) 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績、教科・科目に係る個別テストの成績、調査書の内容の結果を総合して行います。

前期日程・後期日程	
① 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	「令和 9（2027）年度東京海洋大学入学者選抜（一般選抜）における出題教科・科目等について」を参照
② 教科・科目に係る個別テストの教科・科目等	
③ 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等	

(3) 出願期間・教科・科目に係る個別テスト日・合格発表日

	出願期間	教科・科目に係る 個別テスト日	合格発表日
前期日程	2027 年 1 月 25 日（月）～ 2 月 3 日（水）	2027 年 2 月 25 日（木）	2027 年 3 月 8 日（月）
後期日程		2027 年 3 月 12 日（金）	2027 年 3 月 23 日（火）

(4) 令和 9 (2027) 年度入学者選抜 (一般選抜) における出題教科・科目等

《海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科》

学部・学科		日 程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点									
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	前期日程	国	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、 「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数	理 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」から1	大学入学共通テスト	100	50		150	150	150	50		650
			教科・科目に係る個別テスト							150	150				300	
			計				100	50		300	300	150	50		950	
		後期日程	数	理 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から1 英、独、仏、中、韓から1 【3教科4科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200			600
			教科・科目に係る個別テスト											300	300	
			計							200	200	200		300	900	
	食品生産科学科	前期日程	国	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、 「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数	理 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」から1	大学入学共通テスト	100	50		100	100	250	50		650
			教科・科目に係る個別テスト							150	150				300	
			計				100	50		250	250	250	50		950	
		後期日程	数	理 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【4教科5科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200	100		700
			教科・科目に係る個別テスト											300	300	
			計							200	200	200	100	300	1000	

(注 1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

- ・科目名は次のとおり略記しています。
- 国 (国語)、地総・地探 (地理総合、地理探究)、歴総・日探 (歴史総合、日本史探究)、歴総・世探 (歴史総合、世界史探究)、地総／歴総／公 (地理総合／歴史総合／公共)、公・倫 (公共、倫理)、公・政経 (公共、政治・経済)、「数Ⅰ、数A (数学Ⅰ・数学A)」、「数Ⅱ、数B、数C (数学Ⅱ、数学B、数学C)」、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」 (物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎)、物 (物理)、化 (化学)、生 (生物)、英 (英語)、独 (ドイツ語)、仏 (フランス語)、中 (中国語)、韓 (韓国語)、情Ⅰ (情報Ⅰ)
- ・国語は近代以降の文章、古典 (古文、漢文) の全てを利用します。
- ・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答するものとします。
- ・英語にはリスニングを含みます。
- ・指定した教科・科目数を超過して受験した場合は、第1解答科目、第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

(注 2) 教科・科目に係る個別テスト等について

- ・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」については全範囲、「数学B」の出題範囲は「数列」、「数学C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
- ・理科のうち「物理基礎、物理」の出題範囲は、全範囲とします。
- ・理科のうち「化学基礎、化学」の出題範囲は、全範囲とします。
- ・理科のうち「生物基礎、生物」の出題範囲は、全範囲とします。

(注 3) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について

- ・海洋生命科学部の大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。
- ・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
 海洋生物資源学科 リーディング2：リスニング1
 食品生産科学科 リーディング4：リスニング1

《海洋生命科学部 海洋政策文化学科》

学部・学科		日 程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点											
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計		
海洋生命科学部	海洋政策文化学科	前期日程	国 地歴 公民	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、 「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 } から1	数 理	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」 } から1	大学入学共通テスト	200	100		200	200	250	50		1000		
							教科・科目に係る個別テスト			① ※200	② ※200			300	500			
								計	①	200	100		400	200	250	50	300	1500
								計	②	200	100		200	400	250	50	300	1500
			数 理 外 情 Ⅰ	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 【6教科8科目】	そ 他	の小論文	大学入学共通テスト	200	200		200	100	250	50		1000		
							教科・科目に係る個別テスト			① ※200	② ※200			300	500			
								計	①	200	200		400	100	250	50	300	1500
								計	②	200	200		200	300	250	50	300	1500
		後期日程	国 地歴 公民	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、 「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 (公民は1まで。また「地総／歴総／公」は2出題範囲を選択解答。) } から2	数 理	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」 } から1	大学入学共通テスト	200	200		200	100	250	50		1000		
							教科・科目に係る個別テスト			① ※200	② ※200			300	500			
								計	①	200	200		400	100	250	50	300	1500
								計	②	200	200		200	300	250	50	300	1500
後期日程	数 理 外 情 Ⅰ	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 【6教科8科目又は7教科8科目】	そ 他	の小論文	大学入学共通テスト	200 ※1	200 ※2		200 ※1	200 ※2	200			600				
					教科・科目に係る個別テスト								300	300				
						計	200 ※1	200 ※2		200 ※1	200 ※2	200		300	900			

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

- ・科目名は次のとおり略記しています。

- ・国(国語)、地総・地探(地理総合、地理探究)、歴総・日探(歴史総合、日本史探究)、歴総・世探(歴史総合、世界史探究)、地総／歴総／公(地理総合／歴史総合／公共)、公・倫(公共、倫理)、公・政経(公共、政治・経済)、数Ⅰ、数A(数学Ⅰ・数学A)、数Ⅱ、数B、数C(数学Ⅱ、数学B、数学C)、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」(物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎)、物(物理)、化(化学)、生(生物)、英(英語)、独(ドイツ語)、仏(フランス語)、中(中国語)、韓(韓国語)、情Ⅰ(情報Ⅰ)。
- ・国語は近代以降の文章、古典(古文、漢文)の全てを利用します。
- ・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答するものとします。
- ・地理歴史、公民から2科目選択解答する場合「地総／歴総／公」で選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。
- ・地理歴史、公民において2科目選択する場合、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせは選択できません。また、「地総／歴総／公」を選択する場合、解答する出題範囲と同一名称を含む科目の組み合わせは選択できません。
- ・「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」の4つの出題範囲のうち、2つを選択解答するものとします。

- ・英語にはリスニングを含みます。

- ・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第1解答科目、第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

(注2) 教科・科目に係る個別テスト等について

- ・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」については全範囲、「数学B」の出題範囲は「数列」、「数学C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
- ・理科のうち「物理基礎、物理」の出題範囲は、全範囲とします。
- ・理科のうち「化学基礎、化学」の出題範囲は、全範囲とします。
- ・理科のうち「生物基礎、生物」の出題範囲は、全範囲とします。

(注3) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について

- ・配点に※印を付してある教科は選択教科を表します。
- ・後期日程は、※1の「国語」または「数学」から1科目、※2の「地歴」「公民」または「理科」から1科目を選択するものとします。
- ・海洋生命科学部の大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。
- ・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
海洋政策文化学科 リーディング4：リスニング1

《海洋工学部 海事システム工学科・海洋電子機械工学科》

学部・学科		日 程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点								
			教科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	合計
海洋工学部	海事システム工学科	前期日程	国 地 歴 公 民	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物（必須） 化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」	大 学 入 学 共 通 テスト	200	100		200	200	100	100	900
			数 理		外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	教科・科目に係る個別テスト				300		200		500
			外 情			計	200	100		500	200	300	100	1400	
		後期日程	国 地 歴 公 民	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 物、化、生、地学 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【4教科5科目】	理	「物理基礎、物理」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大 学 入 学 共 通 テスト	※200	※200		400	※200	200	100	900
			理 数		外		教科・科目に係る個別テスト					300	200		500
			外 情			計	※200	※200		400	300	400	100	1400	
	海洋電子機械工学科	前期日程	国 地 歴 公 民	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」 「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物（必須） 化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	数	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」	大 学 入 学 共 通 テスト	100	100		200	200	200	50	850
			数 理		外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	教科・科目に係る個別テスト				300		100		400
			外 情			計	100	100		500	200	300	50	1250	
		後期日程	数 理	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【4教科6科目】	理	「物理基礎、物理」 「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	大 学 入 学 共 通 テスト				200	100	200	50	550
			外 情		外		教科・科目に係る個別テスト					200	50		250
						計				200	300	250	50	800	

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

- ・科目名は次のとおり略記しています。

国（国語）、地総・地探（地理総合、地理探究）、歴総・日探（歴史総合、日本史探究）、歴総・世探（歴史総合、世界史探究）、地総／歴総／公（地理総合／歴史総合／公共）、公・倫（公共、倫理）、公・政経（公共、政治・経済）、
「数Ⅰ、数A（数学Ⅰ、数学A）」、「数Ⅱ、数B、数C（数学Ⅱ、数学B、数学C）」、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）、物（物理）、化（化学）、生（生物）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）、情Ⅰ（情報Ⅰ）

- ・国語は近代以降の文章、古典（古文、漢文）の全てを利用します。

- ・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答するものとします。

- ・英語にはリスニングを含みます。
- ・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第 1 解答科目、第 2 解答科目の別がある教科・科目については第 1 解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

(注 2) 教科・科目に係る個別テスト等について

- ・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A、数学 B、数学 C」の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A は全範囲、数学 B は「数列」、数学 C は「ベクトル」とします。
数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A、数学 B、数学 C」の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A は全範囲、数学 B は「数列」、数学 C は「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」とします。
- ・理科のうち「物理基礎、物理」の出題範囲は、全範囲とします。
- ・「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」の出題内容は、「和文英訳（与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題）」とします。

(注 3) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について

- ・配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
海事システム工学科、海洋電子機械工学科 リーディング 4：リスニング 1

《海洋工学部 流通情報工学科》

学部・学科		日 程	大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト等		配点									
			教 科	科 目	教科	科 目	試験区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	合計	
海洋工学部	流通情報工学科	前期日程	国 地 歴 公 民 数 理 外 情	国	「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」	数	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」	大 学 入 学 共 通 テスト	100	100		200	200	100	50	750
				数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎から2 および物、化、生、地学から1 (同一名称を含む科目を選択することはできない) 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科9科目】	外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	教科・科目に係る個別テスト				200		100		300
								計	100	100		400	200	200	50	1050
			国 地 歴 公 民 数 理 外 情	国	「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」	数	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」	大 学 入 学 共 通 テスト	100	100		200	200	100	50	750
				数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目】	外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	教科・科目に係る個別テスト				200		100		300
								計	100	100		400	200	200	50	1050
			国 地 歴 公 民 数 理 外 情	国	「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」	数	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」	大 学 入 学 共 通 テスト	100	200		200	100	100	50	750
				数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎から2 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科9科目又は7教科9科目】	外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	教科・科目に係る個別テスト				200		100		300
								計	100	200		400	100	200	50	1050
			国 地 歴 公 民 数 理 外 情	国	「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」	数	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 または 「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」	大 学 入 学 共 通 テスト	100	200		200	100	100	50	750
				数 理 外 情	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 情Ⅰ 【6教科8科目又は7教科8科目】	外	「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」	教科・科目に係る個別テスト				200		100		300
								計	100	200		400	100	200	50	1050

《海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科》

学部・学科		日 程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト		教科・科目に係る個別テスト等		配点									
			教 科	科目	教科	科目	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	合計
海洋環境科学科	前期日程	国 地歴 公民	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」から1	数 理	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」から1	大学入学共通テスト	100	50		100	100	250	50		650	
						教科・科目に係る個別テスト				250	250			500		
						計	100	50		350	350	250	50		1150	
		後期日程	数 理 外 情Ⅰ	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 【4教科5科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200	100		700
							教科・科目に係る個別テスト							300	300	
							計				200	200	200	100	300	1000
	後期日程	数 理 外 情Ⅰ	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 【4教科5科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200	100		700	
						教科・科目に係る個別テスト							300	300		
						計				200	200	200	100	300	1000	
海洋資源環境学部	前期日程	国 地歴 公民	国 「地総・地探」、「歴総・日探」、「歴総・世探」、「地総／歴総／公」、「公・倫」、「公・政経」から1	数 理	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」から1	大学入学共通テスト	100	50		100	100	250	50		650	
						教科・科目に係る個別テスト				250	250			500		
						計	100	50		350	350	250	50		1150	
		後期日程	数 理 外 情Ⅰ	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 【4教科5科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200	100		700
							教科・科目に係る個別テスト							300	300	
							計				200	200	200	100	300	1000
	後期日程	数 理 外 情Ⅰ	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 【4教科5科目】	その他	小論文	大学入学共通テスト				200	200	200	100		700	
						教科・科目に係る個別テスト							300	300		
						計				200	200	200	100	300	1000	

(注1) 大学入学共通テストの利用教科・科目について

- ・科目名は次のとおり略記しています。

国 (国語)、地総・地探 (地理総合、地理探究)、歴総・日探 (歴史総合、日本史探究)、歴総・世探 (歴史総合、世界史探究)、地総／歴総／公 (地理総合、歴史総合、公共)、公・倫 (公共、倫理)、公・政経 (公共、政治・経済)、
「数Ⅰ、数A (数学Ⅰ、数学A)」、「数Ⅱ、数B、数C (数学Ⅱ、数学B、数学C)」、「物基礎／化基礎／生基礎／地学基礎」 (物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎)、物 (物理)、化 (化学)、生 (生物)、英 (英語)、独 (ドイツ語)、仏 (フランス語)、中 (中国語)、韓 (韓国語)、情Ⅰ (情報Ⅰ)

- ・国語は近代以降の文章、古典 (古文、漢文) の全てを利用します。

- ・「地総／歴総／公」は、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答するものとします。

- ・英語にはリスニングを含みます。

- ・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第1解答科目、第2解答科目の別がある教科・科目については第1解答科目の成績を、その他の教科・科目については高得点の教科・科目の成績を用います。

(注2) 教科・科目に係る個別テスト等について

- ・数学のうち「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」については全範囲、「数学B」の出題範囲は「数列」、「数学C」の出題範囲は「ベクトル」とします。

- ・理科のうち「物理基礎、物理」の出題範囲は、全範囲とします。

- ・理科のうち「化学基礎、化学」の出題範囲は、全範囲とします。

- ・理科のうち「生物基礎、生物」の出題範囲は、全範囲とします。

(次ページに続く)

(注 3) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点及び得点について

- ・海洋資源環境学部の大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の得点は科目ごとに偏差値に換算します。
- ・英語のリーディングとリスニングの配点の比率は以下のとおりです。
海洋環境科学科、海洋資源エネルギー学科 リーディング 4 : リスニング 1

◎海洋資源環境学部の一般選抜は、前期日程・後期日程とも海洋資源環境学部の 2 学科間で、第 2 志望を認めます。
海洋資源環境学部の全受験者を合計得点順に並べ、その上位者から出願時の志望に応じて順次、合格者を決定します。

Ⅲ 総合型選抜

海洋生命科学部

総合型選抜 A（一般）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科
募集人員	一般 8 名 水産教員養成課程若干名
出願資格等	次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(7)を満たす者 (1)高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (4)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (5)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (6)高等学校または中等教育学校で、物理系※、化学系※、生物系※または地学系※のうち、複数の系にまたがり合計2科目以上を履修した（している）者 ※物理系、化学系、生物系、地学系とは、例えば、物理系においては、物理Ⅰ、物理Ⅱ等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系、地学系についても同様。 (7)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	【第1次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度を合格者とします。 (1)小論文 (2)調査書等 (3)志望理由書 【第2次選抜】 第1次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して総合型選抜合格者を決定します。 (1)第1次選抜の成績 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)個人面接
出願期間	2026年11月2日（月）～11月9日（月）
選抜期日	【第1次選抜】2026年11月19日（木） 【第2次選抜】2026年12月18日（金）
合格発表日	第1次選抜 2026年12月11日（金） 最終合格 2027年1月19日（火）
その他	詳細は、2026年9月頃に公表する「令和9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

総合型選抜 A（一般）

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	5 名
出願資格等	次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(8)を満たす者 (1)高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (4)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (5)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (6)高等学校または中等教育学校等で、物理系※、化学系※または生物系※のうち、複数の系にまたがり合計2科目以上を履修した（している）者 ※物理系、化学系、生物系とは、例えば、物理系においては、物理基礎、物理、物理Ⅰ、物理Ⅱ等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系についても同様。 (7)大学入学共通テストに出願する者（共通テストの出願自体は総合型選抜出願後になります） (8)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	【第1次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度までを第1次選抜の合格者とします。 (1)小論文 (2)面接 (3)提出書類（調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く） 【第2次選抜】 第1次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的・総合的に評価して合格者と条件付合格者を決定します。 (1)第1次選抜の各項目 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)面接 条件付合格者には、大学入学共通テストの海洋政策文化学科の一般選抜前期日程または後期日程で必要となる教科・科目を受験することを求め、その点数により、最終結果を通知します。
出願期間	2026年9月1日（火）～9月7日（月）
選抜期日	【第1次選抜】2026年9月25日（金） 【第2次選抜】2026年11月19日（木）
合格発表日	第1次選抜 2026年10月9日（金） 第2次選抜 2026年12月11日（金） 条件付合格者の最終結果通知日 2027年2月10日（水）以降
その他	詳細は、2026年7月頃に公表する「令和9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

総合型選抜 B（専門学科・総合学科卒業生）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	若干名
出願資格等	次の(1)～(5)の要件をすべて満たす者 (1)高等学校または中等教育学校において、水産に関する学科を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者、あるいは水産・海洋系の科目※を25単位以上修得し卒業した者及び2027年3月までに修得・卒業見込みの者 ※水産・海洋系の科目とは、学習指導要領で示される教科「水産」に属する科目及び学校設定科目において水産・海洋の内容に関わる科目を指す。なお、学校設定科目を上記の25単位に含める場合には、出身学校において、調査書の備考欄に、その修得した科目が水産・海洋系に関わる内容であることを示すこと。 (2)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4)高等学校または中等教育学校で、次の各号のいずれかを履修した（している）者 ①物理系※、化学系※または生物系※のうち、複数の系にまたがり合計2科目以上を履修した（している）者 ②物理系※、化学系※または生物系※のうち、いずれか1科目、及び「科学と人間生活」の計2科目以上を履修した（している）者 ③物理系※、化学系※または生物系※のうち、いずれか1科目、及び理科総合 A または理科総合 B のうち、いずれか1科目の計2科目以上を履修した者 ※物理系、化学系、生物系とは、例えば、物理系においては、物理基礎、物理、物理Ⅰ、物理Ⅱ等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系についても同様。 (5)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行います。 (1)小論文 (2)面接・口頭試問 (3)提出書類（調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く） ※(1)および(2)は、高等学校課程での基礎的な学力も加味したのになります。
出願期間	2026年9月1日（火）～9月7日（月）
選抜期日	2026年9月25日（金）
合格発表日	2026年11月2日（月）
その他	詳細は、2026年7月頃に公表する「令和9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

総合型選抜 C－I 型（帰国生徒）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者（転勤等により保護者が先に日本に帰国した後、引き続き単身で在留する場合も出願を認める。） 〔基礎資格〕 次の(1)～(7)のいずれかに該当する者で、2027年4月1日現在において、下記(1)～(5)の基礎資格取得後2年以内である者(2025年4月1日から2027年3月31日までに取得していること) (1) 外国及び日本の正規の学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの（注）。ただし、12年の課程の最終4か年のうち、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること。 （注）上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」とは、次のとおりである。 （昭和56年文部省告示第153号第1号） 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者 (6) 欧州連合構成国において、大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 (7) 国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者 〔要件〕 次の(8)～(10)を満たす者 (8) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (9) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (10) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2026年11月2日（月）～11月9日（月）
選抜期日	2026年11月19日（木）
合格発表日	2026年12月11日（金）
その他	詳細は、2026年9月頃に公表する「令和9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

総合型選抜 C－I 型（帰国生徒）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	若干名
出願資格等	日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者（転勤等により保護者が先に日本に帰国し、その子女のみが単身で在留する場合も出願を認める。） 〔基礎資格〕 次の(1)～(7)のいずれかに該当する者で、2027年4月1日現在において、下記(1)～(5)の基礎資格取得後2年以内である者(2025年4月1日から2027年3月31日までに取得していること) (1) 外国及び日本の正規の学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの（注）。ただし、12年の課程の最終4か年のうち、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること。 （注）上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」とは、次のとおりである。（昭和56年文部省告示第153号第1号） 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者 (6) 欧州連合構成国において、大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 (7) 国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者 〔要件〕 次の(8)～(10)を満たす者 (8) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (9) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (10) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	【第1次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、第1次選抜の合格者とします。 (1) 小論文 (2) 面接 (3) 提出書類（調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く） 【第2次選抜】 第1次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的・総合的に評価して合格者を決定します。 (1) 第1次選抜の各項目 (2) 模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3) 面接
出願期間	2026年9月1日（火）～9月7日（月）
選抜期日	【第1次選抜】 2026年9月25日（金） 【第2次選抜】 2026年11月19日（木）
合格発表日	【第1次選抜】 2026年10月9日（金） 【最終合格】 2026年12月11日（金）

その他	詳細は、2026 年 7 月頃に公表する「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。
-----	---

海洋生命科学部

総合型選抜 C－II 型（留学経験者）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(6)の要件をすべて満たす者 (1) 日本の高等学校在籍中に 1 年（School Year）以上の海外留学経験を有し、留学先での成績証明書を提出できること。 (2) 2027 年 3 月に日本の高等学校を卒業見込みであること（ただし、海外留学したことにより、2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日の間に日本の高等学校を卒業した者を含む）。 (3) 以下に示す外国語検定試験を 2023 年 1 月～2026 年 10 月の間に受験し、その有効な公式スコアまたは合格を証明する書類を提出できること。 ・英語 TOEFL、TOEIC、IELTS、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定 ・ドイツ語 Goethe-Institut のドイツ語検定試験、ドイツ語技能検定試験 ・フランス語 TCF、DELFDALF、実用フランス語技能検定試験 ・スペイン語 DELE、スペイン語技能検定試験 ・中国語 HSK、中国語検定試験 ・韓国語 TOPIK、ハングル能力検定試験 ・その他言語 言語能力を証明する試験 ※上記はあくまでも一部の例示であり、外国語検定試験について不明な点がある場合は、東京海洋大学入試課にお問い合わせください。 (4) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (5) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (6) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出願期間	2026 年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）
選抜期日	2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 9 月頃に公表する「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

総合型選抜C－Ⅱ型（留学経験者）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	若干名
出願資格等	日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(7)の要件をすべて満たす者 (1) 日本の高等学校または中等教育学校後期課程または高等専門学校在籍中に 1 年 (School Year) 以上の海外留学経験を有し、留学先での成績証明書を提出できること。 (2) 2027 年 3 月に日本の高等学校を卒業見込みであること（ただし、海外留学したことにより、2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日の間に日本の高等学校を卒業した者を含む）。 (3) 以下に示す外国語検定試験を 2023 年 1 月～2026 年 8 月の間に受験し、その有効な公式スコアまたは合格を証明する書類を提出できること。 ・英語 TOEFL、TOEIC、IELTS、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定 ・ドイツ語 Goethe-Institut のドイツ語検定試験、ドイツ語技能検定試験 ・フランス語 TCF、DELTA/DALF、実用フランス語技能検定試験 ・スペイン語 DELE、スペイン語技能検定試験 ・中国語 HSK、中国語検定試験 ・韓国語 TOPIK、ハングル能力検定試験 ・その他言語 言語能力を証明する試験 ※上記はあくまでも一部の例示であり、外国語検定試験について不明な点がある場合は、東京海洋大学入試課にお問い合わせください。 (4) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (5) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (6) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (7) 高等学校または中等教育学校で、物理系※、化学系※または生物系※のうち、複数の系にまたがり合計 2 科目以上を履修した（している）者 ※物理系、化学系、生物系とは、例えば、物理系においては、物理基礎、物理、物理Ⅰ、物理Ⅱ等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系、についても同様。
選抜方法等	【第 1 次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、第 1 次選抜の合格者とします。 (1)小論文 (2)面接 (3)提出書類（調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く） 【第 2 次選抜】 第 1 次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して合格者を決定します。 (1)第 1 次選抜の各項目 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)面接
出願期間	2026 年 9 月 1 日（火）～9 月 7 日（月）
選抜期日	【第 1 次選抜】 2026 年 9 月 25 日（金） 【第 2 次選抜】 2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	【第 1 次選抜】 2026 年 10 月 9 日（金） 【最終合格】 2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 7 月頃に公表する「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

総合型選抜 E（社会人）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	2027 年 3 月 31 日までに満 23 歳に達し、社会人としての経験を 5 年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (4) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (5) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (6) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2026 年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）
選抜期日	2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 9 月頃に公表する「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

総合型選抜 E（社会人）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科
募集人員	若干名
出願資格等	2027 年 3 月 31 日までに満 23 歳に達し、社会人としての経験を 5 年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (4) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (5) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (6) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	【第 1 次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、第 1 次選抜の合格者とします。 (1) 小論文 (2) 面接 (3) 提出書類（調査書、志望理由書等。出願要件としての英語資格検定の資料は除く） 第 2 次選抜】 第 1 次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して合格者を決定します。 (1) 第 1 次選抜の各項目 (2) 模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3) 面接
出願期間	2026 年 9 月 1 日（火）～9 月 7 日（月）
選抜期日	【第 1 次選抜】 2026 年 9 月 25 日（金） 【第 2 次選抜】 2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	【第 1 次選抜】 2026 年 10 月 9 日（金） 【最終合格】 2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 7 月頃に公表する「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋工学部

総合型選抜 A（一般）

実施学部・ 学 科 名	海 洋 工 学 部		
	海事システム工学科	海洋電子機械工学科	流通情報工学科
募集人員	7 名	6 名	7 名
出願資格等	次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者 (1)高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者 (3)学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (4)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (5)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (6)海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者		
選抜方法等	【第1次選抜】 以下の出願書類により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度を合格者とします。 (1)調査書等 (2)志望理由・自己推薦書 【第2次選抜】（学科ごとに選抜方法は異なります。） 第1次選抜の合格者に対して、学科ごとに第2次選抜を行い、第1次選抜の成績、第2次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。		
出願期間	2026年9月1日（火）～9月7日（月）		
選抜期日	【第1次選抜】2026年9月10日（木）から9月16日（水） 【第2次選抜】2026年10月16日（金）		
合格発表日	第1次選抜 2026年10月9日（金） 最終合格 2026年11月13日（金）		
そ の 他	詳細は、2026年7月頃に公表する「令和9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。		

海洋工学部

総合型選抜 B（専門学科・総合学科卒業生）

実施学部・ 学 科 名	海 洋 工 学 部		
	海事システム工学科	海洋電子機械工学科	流通情報工学科
募集人員	2 名	3 名	1 名
出願資格等	次の(1)または(2)のいずれかに該当し、かつ(3)～(5)を満たす者 (1)高等学校または中等教育学校の工業・情報に関する学科を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者 また、海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限り、高等学校もしくは中等教育学校の海洋技術に関する学科または海上技術学校^(注)を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者も含む。 (注) 海上技術学校とは、独立行政法人海技教育機構法（平成11年法律第214号）による海上技術学校（旧独立行政法人海員学校及び旧運輸省組織令による海員学校を含む。）の本科を指す。 (2)高等学校または中等教育学校の総合学科を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者で工業・情報に関する科目を20単位以上修得した者及び修得見込みの者 (3)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (4)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (5)海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者		
選抜方法等	【第1次選抜】 以下の出願書類に基づき、多面的・総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度を合格者とします。 (1)調査書 (2)志望理由・自己推薦書 【第2次選抜】（学科ごとに選抜方法は異なります。） 第1次選抜の合格者に対して、学科ごとに第2次選抜を行い、第1次選抜の成績、第2次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。		
出願期間	2026年9月1日（火）～9月7日（月）		
選抜期日	【第1次選抜】2026年9月10日（木）から9月16日（水） 【第2次選抜】2026年10月16日（金）		
合格発表日	第1次選抜 2026年10月9日（金） 最終合格 2026年11月13日（金）		
そ の 他	詳細は、2026年7月頃に公表する「令和9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。		

海洋工学部

総合型選抜C－I型（帰国生徒）

実施学部・学科名	海洋工学部 海事システム工学科・海洋電子機械工学科・流通情報工学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者 〔基礎資格〕 次の(1)～(7)のいずれかに該当する者 (1) 外国及び日本の正規の学校教育における 12 年の課程を修了した者及び修了見込みの者、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの^(注)。 ただし、12 年の課程の最終 4 か年のうち、外国において 1 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている必要があります。 (注) 上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」(昭和 56 年文部省告示第 153 号第 1 号) とは、外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者である。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者 (6) 欧州連合構成国において、大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 (7) 国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia、COBIS) から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は修了見込みの者 〔要件〕 次の(8)～(11)の要件をすべて満たす者 (8) 2027 年 4 月 1 日現在において基礎資格取得後 2 年以内であること。(2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに取得していること。) (9) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (10) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (11) 海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	【第 1 次選抜】 以下の出願書類に基づき、多面的・総合的に評価して選抜を行います。 (1) 成績証明書等 (2) 志望理由・自己推薦書 【第 2 次選抜】(学科ごとに選抜方法は異なります。) 第 1 次選抜の合格者に対して、学科ごとに第 2 次選抜を行い、第 1 次選抜の成績、第 2 次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。
出願期間	2026 年 9 月 1 日(火)～9 月 7 日(月)
選抜期日	【第 1 次選抜】2026 年 9 月 10 日(木)から 9 月 16 日(水) 【第 2 次選抜】2026 年 10 月 16 日(金)
合格発表日	第 1 次選抜 2026 年 10 月 9 日(金) 最終合格 2026 年 11 月 13 日(金)
そ の 他	詳細は、2026 年 7 月頃に公表する「令和 9 (2027) 年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋工学部

総合型選抜 D（商船教員養成コース）

実施学部・ 学 科 名	海洋工学部 海洋電子機械工学科
募集人員	2 名
出願資格等	2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに高等学校または中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者 [要件] (1) 人物、学業成績が共に優れ、商船教員を目指して意欲的に勉学に励むことを確約できる者 (2) 調査書の全体の評定平均値が 4.3 以上の者 (3) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4) 海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	【第 1 次選抜】 以下の出願書類に基づき、多面的・総合的に評価して選抜を行います。 (1) 調査書 (2) 志望理由・自己推薦書 【第 2 次選抜】 第 1 次選抜の合格者に対して、第 2 次選抜を行い、第 1 次選抜の成績、第 2 次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。
出願期間	2026 年 9 月 1 日（火）～9 月 7 日（月）
選抜期日	【第 1 次選抜】 2026 年 9 月 10 日（木）から 9 月 16 日（水） 【第 2 次選抜】 2026 年 10 月 16 日（金）
合格発表日	第 1 次選抜 2026 年 10 月 9 日（金） 最終合格 2026 年 11 月 13 日（金）
そ の 他	詳細は、2026 年 7 月頃に公表する「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

（注）商船教員養成コースは、商船教育（海技士養成）機関の機関系教員を養成するコースです。

本コースでは主に、全国各地の水産・海洋系高等学校、または水産・海洋系の学科及びコースを持つ高等学校の教員となることを目指します。商船教員養成コースに入学した学生は、3 年次に機関システム工学コースに所属します。機関システム工学コースの卒業要件（124 単位）に加えて、「商船」の教育職員免許状取得に必要な教職科目（29 単位）の単位取得が本コースの卒業要件となります。

海洋工学部

総合型選抜 E（社会人）

実施学部・ 学 科 名	海洋工学部 海事システム工学科・海洋電子機械工学科・流通情報工学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	2027 年 3 月 31 日までに満 23 歳に達し、社会人としての経験を 5 年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者 (1)高等学校または中等教育学校を卒業した者 (2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 (3)学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (4)大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (5)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (6)海洋工学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	【第 1 次選抜】 以下の出願書類に基づき、多面的・総合的に評価して選抜を行います。 (1)調査書 (2)志望理由・自己推薦書 【第 2 次選抜】（学科ごとに選抜方法は異なります。） 第 1 次選抜の合格者に対して、学科ごとに第 2 次選抜を行い、第 1 次選抜の成績、第 2 次選抜の成績及び調査書の内容を総合的に評価して、合格者を決定します。
出願期間	2026 年 9 月 1 日（火）～9 月 7 日（月）
選抜期日	【第 1 次選抜】 2026 年 9 月 10 日（木）から 9 月 16 日（水） 【第 2 次選抜】 2026 年 10 月 16 日（金）
合格発表日	第 1 次選抜 2026 年 10 月 9 日（金） 最終合格 2026 年 11 月 13 日（金）
そ の 他	詳細は、2026 年 7 月頃に公表する「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋資源環境学部

総合型選抜C－I型（帰国生徒）

実施学部・学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者（転勤等により保護者が先に日本に帰国した後、引き続き単身で在留する場合も出願を認める。） 〔基礎資格〕 次の(1)～(7)のいずれかに該当する者で、2027年4月1日現在において、下記(1)～(5)の基礎資格取得後2年以内である者(2025年4月1日から2027年3月31日までに取得していること) (1) 外国及び日本の正規の学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、またはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの（注）。ただし、12年の課程の最終4か年のうち、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること。 （注）上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」とは、次のとおりである。 （昭和56年文部省告示第153号第1号） 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者。外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者 (6) 欧州連合構成国において、大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者 (7) 国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者 〔要件〕 次の(8)～(10)を満たす者 (8) 海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (9) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (10) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2026年11月2日（月）～11月9日（月）
選抜期日	2026年11月19日（木）
合格発表日	2026年12月11日（金）
その他	詳細は、2026年9月頃に公表する「令和9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋資源環境学部

総合型選抜C－Ⅱ型（留学経験者）

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	日本国籍を有する者、または日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)～(6)の要件をすべて満たす者 (1) 日本の高等学校在籍中に1年（School Year）以上の海外留学経験を有し、留学先での成績証明書を提出できること。 (2) 2027年3月に日本の高等学校を卒業見込みであること（ただし、海外留学したことにより、2026年4月1日から2027年3月31日の間に日本の高等学校を卒業した者を含む）。 (3) 以下に示す外国語検定試験を2023年1月～2026年10月の間に受験し、その有効な公式スコアまたは合格を証明する書類を提出できること。 ・英語 TOEFL、TOEIC、IELTS、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定 ・ドイツ語 Goethe-Institutのドイツ語検定試験、ドイツ語技能検定試験 ・フランス語 TCF、DELFDALF、実用フランス語技能検定試験 ・スペイン語 DELE、スペイン語技能検定試験 ・中国語 HSK、中国語検定試験 ・韓国語 TOPIK、ハングル能力検定試験 ・その他言語 言語能力を証明する試験 ※上記はあくまでも一部の例示であり、外国語検定試験について不明な点がある場合は、東京海洋大学入試課にお問い合わせください。 (4) 海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (5) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (6) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出願期間	2026年11月2日（月）～11月9日（月）
選抜期日	2026年11月19日（木）
合格発表日	2026年12月11日（金）
その他	詳細は、2026年9月頃に公表する「令和9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋資源環境学部

総合型選抜 E（社会人）

実施学部・学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	2027 年 3 月 31 日までに満 23 歳に達し、社会人としての経験を 5 年以上有する者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)～(6)を満たす者 (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (4) 海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 (5) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び教育研究上の目的並びに学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者 (6) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2026 年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）
選抜期日	2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 9 月頃に公表する「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」を参照してください。

IV 学校推薦型選抜

海洋生命科学部

学校推薦型選抜 A（一般）

実施学部・ 学科名	海洋生命科学部 食品生産科学科
募集人員	10 名
出願資格等	志望学科への入学の意志が強く、次の各号のすべてに該当する者 (1) 2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに高等学校または中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者 (2) 人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者 (3) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2026 年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）
選抜期日	2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 9 月頃に公表する「令和 9（2027）年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

学校推薦型選抜 A（一般）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋政策文化学科	
募集人員	2 名	
出願資格等	志望学科への入学の意志が強く、次の各号のすべてに該当する者 (1) 2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに高等学校または中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者 (2) 人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者 (3) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4) 令和 9 年度大学入学共通テストに出願する者 (5) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者	
選抜方法等	(1) 次の項目により多面的、総合的に評価して合格者を決定します。 ①大学入学共通テストの成績 ②推薦書 ③調査書 ④志望理由書 ⑤資格・業績書 (2) 大学入学共通テストの取扱い ①受験を要する教科・科目 〈A パターン〉	
	教科	科目
	国語	「国語」
	地理歴史、 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1 科目
	数学①	「数学Ⅰ、数学 A」
	数学②	「数学Ⅱ、数学 B、数学 C」
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から 2 科目
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1 科目
	情報	「情報Ⅰ」
	〈B パターン〉	
	教科	科目
	国語	「国語」
	地理歴史、 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 2 科目 (公民は 1 科目まで)
	数学①	「数学Ⅰ、数学 A」
	数学②	「数学Ⅱ、数学 B、数学 C」

理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」							
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目							
情報	「情報Ⅰ」							
〈C パターン〉								
教科	科目							
国語	「国語」							
地理歴史、 公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から2科目 (公民は1科目まで)							
数学①	「数学Ⅰ、数学A」							
数学②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」							
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目							
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目							
情報	「情報Ⅰ」							
※1 指定された教科・科目を一つでも受験していない場合は、出願することはできない。								
※2 地理歴史、公民及び理科において指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、第1解答科目の成績を用いる。								
※3 地理歴史、公民において「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合、「地理総合」「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答すること。								
※4 地理歴史、公民において2科目選択する場合								
・「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせは選択できない。								
・「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合、解答する出題範囲と同一名称を含む科目の組み合わせは選択できない。								
※5 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」の4つの出題範囲のうち、2つを選択解答すること。								
②配点								
教科	国語	地理歴史、 公民	数学	理科	外国語	情報	合計	基準点
A パターン	200	100	200	200	250	50	1,000	700
B、C パターン	200	200	200	100	250	50	1,000	700
※1 外国語は250点満点とし、英語を選択した場合は、リーディングを200点、リスニングを50点とする。リスニング免除者は、リーディングのみの得点で250点満点とする。								

	※2 大学入学共通テストの得点は科目ごとに偏差値に換算する。 ※3 基準点については、素点を配点に従い 1,000 点満点に換算したものをを用いる。 ③基準点の取扱い 本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目の得点合計が基準点に満たない場合は、合格対象者とはならない。
出願期間	2027 年 1 月 25 日（月）～2 月 3 日（水）
合格発表日	2027 年 2 月 10 日（水）
その他	詳細は、2026 年 9 月頃に公表する「令和 9（2027）年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

学校推薦型選抜 B（専門学科・総合学科卒業生）

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科
募集人員	若干名（水産教員養成課程を含む）
出願資格等	次の各号のすべてに該当する者 (1) 高等学校または中等教育学校において、水産に関する学科を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者、あるいは水産・海洋系の科目（注）を 25 単位以上修得し卒業した者及び 2027 年 3 月までに修得・卒業見込みの者 （注）水産・海洋系の科目とは、学習指導要領で示される教科「水産」に属する科目及び学校設定科目において水産・海洋の内容に関わる科目を指す。なお、学校設定科目を上記の 25 単位に含める場合には、出身学校において、調査書の備考欄に、その修得した科目が水産・海洋系に関わる内容であることを示すこと。 (2) 人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者 (3) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4) 高等学校または中等教育学校で、次の各号のいずれかを履修した（している）者 ①物理系※、化学系※または生物系※のうち、複数の系にまたがり合計 2 科目以上を履修した（している）者 ②物理系※、化学系※または生物系※のうち、いずれか 1 科目、及び「科学と人間生活」の計 2 科目以上を履修した（している）者 ③物理系※、化学系※または生物系※のうち、いずれか 1 科目及び理科総合 A または理科総合 B のうち、いずれか 1 科目の計 2 科目以上を履修した者 ※物理系、化学系、生物系とは、例えば、物理系においては、物理基礎、物理、物理Ⅰ、物理Ⅱ等、科目名に物理の名称がつく科目のことをいう。化学系、生物系についても同様。 (5) 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者

選抜方法等	【第1次選抜】 次の項目により、多面的・総合的に評価して選抜を行い、上位若干名を合格者とします。 (1)小論文 (2)口頭試問 (3)調査書 (4)志望理由書 【第2次選抜】 第1次選抜の合格者に対して、次の項目により多面的、総合的に評価して学校推薦型選抜合格者を決定します。 (1)第1次選抜の成績 (2)模擬講義を聴講し作成した聴講論文 (3)個人面接
出願期間	2026年11月2日(月)～11月9日(月)
選抜期日	【第1次選抜】2026年11月19日(木) 【第2次選抜】2026年12月18日(金)
合格発表日	【第1次選抜】2026年12月11日(金) 【最終合格】2027年1月19日(火)
その他	詳細は、2026年9月頃に公表する「令和9(2027)年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋生命科学部

学校推薦型選抜B(専門学科・総合学科卒業生)

実施学部・学科名	海洋生命科学部 食品生産科学科
募集人員	2名(うち1名は水産教員養成課程)
出願資格等	次の各号のすべてに該当する者 (1)高等学校または中等教育学校において、水産に関する学科を卒業した者及び2027年3月までに卒業見込みの者、あるいは水産・海洋系の科目(注)を25単位以上修得し卒業した者及び2027年3月までに修得・卒業見込みの者 (注)水産・海洋系の科目とは、学習指導要領で示される教科「水産」に属する科目及び学校設定科目において水産・海洋の内容に関わる科目を指す。なお、学校設定科目を、上記の25単位に含める場合には、出身学校において、調査書の備考欄に、その修得した科目が水産・海洋系に関わる内容であることを示すこと。 (2)人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者 (3)合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4)海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類(出願要件としての英語資格検定の資料は除く)の内容を総合して行います。

出願期間	2026 年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）
選抜期日	2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 9 月頃に公表する「令和 9（2027）年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋資源環境学部

学校推薦型選抜 A（一般）

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	海洋環境科学科 11 名 海洋資源エネルギー学科 5 名
出願資格等	志望学科への入学の意志が強く、次の各号のすべてに該当する者 (1) 2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに高等学校または中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者 (2) 人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者 (3) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4) 海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2026 年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）
選抜期日	2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 9 月頃に公表する「令和 9（2027）年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

海洋資源環境学部

学校推薦型選抜 B（専門学科・総合学科卒業生）

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	次の各号のすべてに該当する者 (1) 高等学校または中等教育学校において、水産に関する学科を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者、あるいは水産・海洋系の科目（注）を 25 単位以上修得し卒業した者及び 2027 年 3 月までに修得・卒業見込みの者 （注）水産・海洋系の科目とは、学習指導要領で示される教科「水産」に属する科目及び学校設定科目において水産・海洋の内容に関わる科目を指す。なお、学校設定科目を、上記の 25 単位に含める場合には、出身学校において、調査書の備考欄に、その修得した科目が水産・海洋系に関わる内容であることを示すこと。 (2) 人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者 (3) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者 (4) 海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者
選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト及び大学入学共通テストを免除し、小論文・面接の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2026 年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）
選抜期日	2026 年 11 月 19 日（木）
合格発表日	2026 年 12 月 11 日（金）
その他	詳細は、2026 年 9 月頃に公表する「令和 9（2027）年度学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

V 私費外国人留学生特別入試

海洋生命科学部

実施学部・学科名	海洋生命科学部 海洋生物資源学科・食品生産科学科・海洋政策文化学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	【日本留学試験】 独立行政法人日本学生支援機構が年2回（6月・11月）実施する2026年度日本留学試験で本学が指定した教科・科目を受験した者 海洋生命科学部へ出願する者は、日本語、理科（2科目選択）、数学（コース2）を受験してください。ただし、出題言語は日本語で受験してください。なお、日本留学試験は、2026年度に実施される年2回のうちどちらを受験してもかまいません。 【外部英語資格試験】 海洋生命科学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 ※出願資格の「外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」において、「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国にある学校を指します。 その他の出願資格については、令和9（2027）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項、並びに本学ホームページ等で確認してください。
選抜方法等	入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、教科・科目に係る個別テスト・面接・日本留学試験の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2027年1月25日（月）～2月3日（水）
選抜期日	2027年2月25日（木）
合格発表日	2027年3月8日（月）
その他	詳細は、2026年12月頃に公表する「令和9（2027）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を参照してください。

海洋工学部

実施学部・ 学科名	海洋工学部 海事システム工学科・海洋電子機械工学科・流通情報工学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	【日本留学試験】 独立行政法人日本学生支援機構が年2回（6月・11月）実施する2026年度日本留学試験で本学が指定した教科・科目を受験した者 海洋工学部へ出願する者は、日本語、理科（物理・化学）、数学（コース2）を受験してください。ただし、出題言語は日本語で受験してください。なお、日本留学試験は、2026年度に実施される年2回のうちどちらを受験してもかまいません。 ※出願資格の「外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」において、「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国にある学校を指します。 その他の出願資格については、令和9（2027）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項、並びに本学ホームページ等で確認してください。
選抜方法等	入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、教科・科目に係る個別テスト・面接・日本留学試験の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出願期間	2027年1月25日（月）～2月3日（水）
選抜期日	2027年2月25日（木）
合格発表日	2027年3月8日（月）
その他	詳細は、2026年12月頃に公表する「令和9（2027）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を参照してください。

海洋資源環境学部

実施学部・ 学科名	海洋資源環境学部 海洋環境科学科・海洋資源エネルギー学科
募集人員	各学科若干名
出願資格等	【日本留学試験】 独立行政法人日本学生支援機構が年2回（6月・11月）実施する2026年度日本留学試験で本学が指定した教科・科目を受験した者 海洋資源環境学部へ出願する者は、日本語、理科（2科目選択）、数学（コース2）を受験してください。ただし、出題言語は日本語で受験してください。なお、日本留学試験は、2026年度に実施される年2回のうちどちらを受験してもかまいません。 【外部英語資格試験】 海洋資源環境学部の指定するいずれかの英語資格等を保持している者 ※出願資格の「外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2027年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」において、「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国にある学校を指します。 その他の出願資格については、令和9（2027）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項、並びに本学ホームページ等で確認してください。
選抜方法等	入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、教科・科目に係る個別テスト・面接・日本留学試験の成績及び提出書類（出願要件としての英語資格検定の資料は除く）の内容を総合して行います。
出願期間	2027年1月25日（月）～2月3日（水）
選抜期日	2027年2月25日（木）
合格発表日	2027年3月8日（月）
その他	詳細は、2026年12月頃に公表する「令和9（2027）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を参照してください。

VI 学生募集要項の発表・大学案内等の請求方法

1 学生募集要項の発表

7～9 月頃に「令和 9（2027）年度総合型選抜学生募集要項」、9 月頃に「令和 9（2027）年度学校推薦型選抜学生募集要項」、12 月頃に「令和 9（2027）年度一般選抜学生募集要項」及び「令和 9（2027）年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を Web 上で発表予定です。なお、印刷物での配付はありませんが、大学案内は以下から請求できます。

2 大学案内等の請求方法

(1) テレメールによる請求

インターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン等）での請求ができます。

	インターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン）の場合
	https://telemail.jp/ 携帯電話、スマートフォン、パソコンとも共通アドレスです。
	QR コード ※対応するスマートフォン、 携帯電話で読み取れます

資料名	資料請求番号	料金	発送開始時期
大学案内	569302	215 円	7 月

【テレメール問い合わせ先】

テレメールカスタマーセンター：TEL 050-8601-0102（9:30～18:00）まで

(2) DJC『モバっちょ』による請求

下記 URL または QR コードから請求できます。



<http://djc-mb.jp/kaiyodai3/>



【モバっちょ問い合わせ先】

モバっちょカスタマーセンター：TEL 050-3540-5005（10:00～18:00 平日）まで

Ⅶ 健康診断について

1 船舶実習の履修、コース選択について

海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科は授業科目に船舶実習の必修科目があり、次の健康診断基準を満たしていない場合、必修科目「船舶実習Ⅰ」、「船舶実習Ⅱ（海洋電子機械工学科機関システム工学コース）」の履修に制約や、海洋電子機械工学科では3年次コース選択に制約が生じることがあります。

2 乗船実習科への進学について

海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科（機関システム工学コース）卒業後、海技免許の取得を希望する者は、乗船実習科（6か月の課程）を修了する必要があります。乗船実習科へ進学を希望する者は、出願前に専門医を受診し、色覚に関する検査を含め、次の健康診断基準を満たしていることを確認しておいてください。

【健康診断基準】

項目	海事システム工学科（航海士）	海洋電子機械工学科（機関士）
視 力	視力（矯正視力を含む）が両眼共に0.5以上であること。	視力（矯正視力を含む）が両眼で0.4以上であること。
色 覚	船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと。 基準：以下の色覚検査に合格すること。 石原色覚検査表（国際版38表）及びパネルD-15を使用し、少なくともパネルD-15を用いた検査に合格すること。	基準：以下の色覚検査に合格すること。 石原色覚検査表（国際版38表）及びパネルD-15を使用し、少なくともパネルD-15を用いた検査に合格するか、いずれも不合格の場合には、船員法指定医療機関（国土交通省海事局・各地方運輸局にお問合せください。）における特定船員色識別適性確認表を用いた検査に合格すること。
聴 力	5メートル以上の距離で話声語を弁別できること。	
握 力	男子の握力は、左右共に25キログラム以上、女子の握力は左右共に17キログラム以上であること。	
疾 病 及 び 身 体 機 能 の 障 害 の 有 無	心臓疾患、視覚機能の障害、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害、その他の疾病又は身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること。 （海技免許の取得・更新のためには、上記の障害により「船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること」が求められます。）	

(注)・この健康診断基準は、「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」別表第三に規定された海技士身体検査基準表及び「船員法施行規則」第二号表に従っています（※法改正に伴い変更の可能性があります）。

※参考 船員法施行規則第二号表

健康検査合格標準表（国土交通省ウェブサイト、<https://www.mlit.go.jp/maritime/content/001599342.pdf>）

- ・海技免許取得要件及び健康検査合格標準表の最新の情報は、国土交通省海事局・各地方運輸局へお問い合わせください。
- ・疾病等で不明な点については、出願までに学務部入試課入試第一係へ問い合わせてください。

3 海洋科学専攻科への進学について

海洋生命科学部・海洋資源環境学部に入学者卒業後に、船舶職員となることを志望し、海洋科学専攻科（船舶の運航に関して学ぶ 1 年の課程）に進学し、国家資格である海技免許を取得するには次の〔身体検査基準〕を満たす必要があります。ただし、海洋科学専攻科進学に際しての身体検査基準はありません。

〔身体検査基準〕

検査項目	身体検査基準
視 力 (5 メートルの距離で万国視力表による)	視力（矯正視力を含む）が両眼共に 0.5 以上であること
色 覚	船舶職員としての職務に支障をきたすおそれのある色覚の異常がないこと
聴 力	5 メートル以上の距離で話声語を弁別できること
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患、視覚機能の障害、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害、その他の疾病または身体機能の障害により船舶職員としての職務に支障をきたさないと認められること

(船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則別表第 3 準拠)

VIII 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合、出願に先立ち事前に相談してください。

1 相談の時期

入学者選抜の種類	相談の期限
総合型選抜（海洋生命科学部海洋政策文化学科） 総合型選抜（海洋工学部）	2026 年 8 月 20 日（木）まで
総合型選抜（海洋生命科学部海洋生物資源学科、食品生産科学科） 総合型選抜（海洋資源環境学部） 学校推薦型選抜（海洋生命科学部海洋生物資源学科、食品生産科学科） 学校推薦型選抜（海洋資源環境学部）	2026 年 9 月 25 日（金）まで
一般選抜（全学部） 私費外国人留学生特別入試（全学部） 学校推薦型選抜（海洋生命科学部海洋政策文化学科）	2026 年 12 月 16 日（水）まで

2 相談の方法

本学ホームページ掲載の入学試験受験上の配慮申請書に医師の診断書等必要書類を添付して提出してください。必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

3 提出先

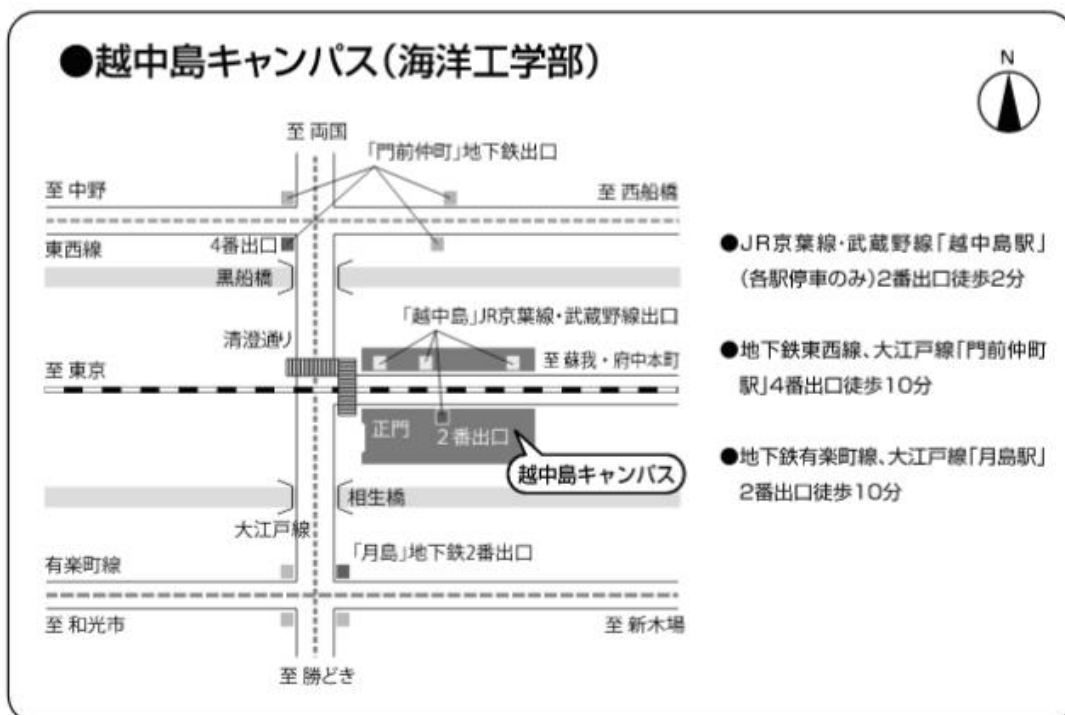
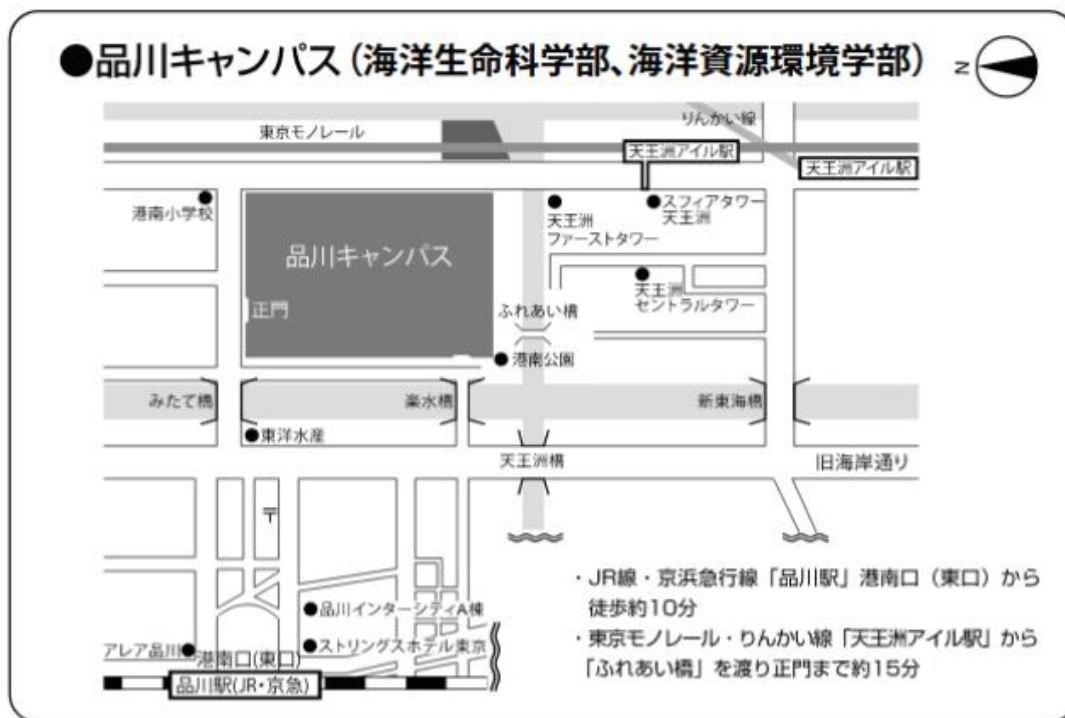
〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学入試課

IX 東京海洋大学のキャンパス案内

東京海洋大学のキャンパスは、品川キャンパスと越中島キャンパスの2か所です。

なお、海洋生命科学部及び海洋資源環境学部は品川キャンパス、海洋工学部は越中島キャンパスで、主たる教育研究を行います。

【交通の案内】



X 学生寮のお知らせ（令和9年度学部1年次入学者）

名称	青鷹寮（品川キャンパス）		海王寮（越中島キャンパス）
所在地	東京都港区港南 4 - 5 - 7		東京都江東区越中島 2 - 2 - 8
部屋の 形状	単身 A	単身 B	男子 1～3 寮、女子 4 寮 約 12.5 m ² /1 人（準個室） ※1 室を 2 部屋に区切り 2 人で使用 エレベーターはありません ※共同浴場（男子のみ）、シャワー、 トイレ、ミニキッチン、洗面所、洗 濯室は共用
	約 9 m ² /居室（個室） ※シャワー、トイレ、ダイニ ングキッチンは共用	約 13 m ² /居室（個室） ※シャワー、トイレ、キッ チンは居室内完備 ※単身 A 専用共用部は使 用できません。	
経費	寄宿料 480,000 円/年	寄宿料 780,000 円/年	寄宿料 36,000 円/年
	光熱水費 居室での利用分 単身 A 専用共用部 での利用分	光熱水費 居室での利用分	光熱水費等 54,000 円/年
	入寮時預り金 40,000 円	入寮時預り金 65,000 円	入寮費 30,000 円/入寮時のみ
	共益費 なし		共益費 38,400 円/年
	ランドリー使用料金（使用都度払 1 回 300 円。乾燥機 30 分含む）		学生寮運営のための諸経費 45,600 円/年+7,000 円/入寮時のみ
募集 人数	入寮募集要項を確認してください。 ※外国人留学生は【外国人留学生対象の入居者募集について】を確認してください。		
選考 方法	応募者多数の場合は、下記の選考方法により選考します。 ・片道の通学時間が 2 時間以上で、本学所定の選考基準により算出した家計評価の困窮度の高い 順から選考 ・応募者が定員を満たさなかった場合、2 時間未満の片道の通学時間を 30 分単位で区分けし、家 計評価の困窮度の高い順から選考		
入居 期間	2027 年 4 月 1 日（水）～2029 年 3 月 23 日（金）（2 年間）		

※2027 年度入寮募集要項（2027 年 1 月上旬公表予定）を必ず確認してください。

入寮の応募方法について

募集人数・募集時期・選考方法及び必要経費等については現在検討しており、それらについて記載した入寮募集要項は、大学ホームページからダウンロードできる予定です。

東京海洋大学ホームページ→学生生活→学生寮→入寮募集要項

入寮募集要項の大学ホームページ公開時期については、「2027 年度学生寮募集日程」を確認してください。東京海洋大学ホームページ→学生生活→学生寮→学生寮募集日程

外国人留学生対象の入居者募集について

外国人留学生対象の宿舎については、空室がある場合に大学ホームページで入居者募集を行っています。

TOP ページ (<https://www.kaiyodai.ac.jp/>) → 在学生の方 → 在学する留学生向け情報 → 宿舎募集情報
(または、URL : <https://www.kaiyodai.ac.jp/international/foreignstudents/> → 宿舎募集情報)

XI 入試に関する変更点

入学者選抜の変更に関する重要な予告になります。詳細については、以下の URL をご覧ください。

TOP ページ (<https://www.kaiyodai.ac.jp/>) → 入試情報 → 学部入試 → 入試の主な変更点(予告)
(<https://www.kaiyodai.ac.jp/entranceexamination/undergraduate/docs/post.html>)

【令和 9 (2027) 年度入試】

令和 9 (2027) 年度 (令和 8 (2026) 年度実施) 入学者選抜

海洋生命科学部及び海洋資源環境学部における一般選抜に係る変更点について (予告)

※一般選抜の出願時における英語資格の廃止

令和 9 (2027) 年度 (令和 8 (2026) 年度実施) 入学者選抜

海洋工学部 総合型選抜 D (商船教員養成コース) における出願要件の変更について (予告)

※調査書の全体の評定平均値を 4.3 以上に変更

【令和 10 (2028) 年度入試】

令和 10 (2028) 年度 (令和 9 (2027) 年度実施) 入学者選抜

海洋工学部流通情報工学科における学校推薦型選抜 (女性募集枠) の設定について (予告)

※募集人員：3 名 (予定)

令和 10 (2028) 年度 (令和 9 (2027) 年度実施) 入学者選抜

海洋工学部海洋電子機械工学科における一般選抜 (前期日程・後期日程) における募集人員の変更について (予告)

※前期日程：4 名減、後期日程：4 名増 (予定)

令和 10 (2028) 年度 (令和 9 (2027) 年度実施) 入学者選抜

海洋生命科学部食品生産科学科 3 年次編入学試験における推薦試験の廃止について (予告)

令和 10 (2028) 年度 (令和 9 (2027) 年度実施) 入学者選抜

海洋工学部流通情報工学科における総合型選抜 (募集人数) の変更について (予告)

※募集人員：A (一般) 7 名 → 4 名 (予定)



入学者選抜要項に関する問い合わせ先

〒108-8477

東京都港区港南 4-5-7

東京海洋大学入試課入試第一係

TEL 03-5463-0510

(平日 9:00～17:00/12:00～13:00、
土・日・祝日を除く)

E-mail n-nyusil@o.kaiyodai.ac.jp